2025年3月期
決算説明会

扶桑化学工業株式会社

2025年5月14日
東証プライム(4368)

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

目次

Ⅰ. 2025年3月期　決算概要　　上席執行役員　伊藤　裕之

Ⅱ. 事業の概要

- ■ ライフサイエンス事業　　専務取締役　政氏　晴生
- ■ 電子材料および機能性化学品事業　　取締役　椙本　源樹
- ■ 経営企画　　常務取締役　藤岡　篤

Ⅲ. 2026年3月期　業績予想　　代表取締役社長　杉田　真一

Ⅳ. Q&A

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

I.　2025年3月期 決算概要

FUSO CHEMICAL

2025年3月期　決算概要

（単位：億円）	当期実績	前年同期比			期初計画比			修正計画比_2025年2月18日開示		
		前期実績	増減額	増減率	公表計画	乖離額	乖離率	公表計画	乖離額	乖離率
売上高	695.0	589.7	+105.3	+17.9%	650.0	+45.0	+6.9%	694.0	+1.0	+0.1%
営業利益	162.3	110.8	+51.4	+46.4%	111.5	+50.8	+45.6%	160.0	+2.3	+1.4%
経常利益	165.6	118.8	+46.7	+39.4%	112.5	+53.1	+47.2%	164.0	+1.6	+1.0%
当期純利益	116.2	83.4	+32.7	+39.3%	74.0	+42.2	+57.1%	111.0	+5.2	+4.7%
償却前営業利益	245.3	182.4	+62.9	+34.5%	195.0	+50.3	+25.8%	243.0	+2.3	+1.0%
１株当たり当期純利益	329.6円	236.7円	+92.9円	+39.3%	209.9円	+119.7円	+57.0%	314.8円	+14.8 円	+4.7%

売上高および償却前営業利益　過去最高を更新

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

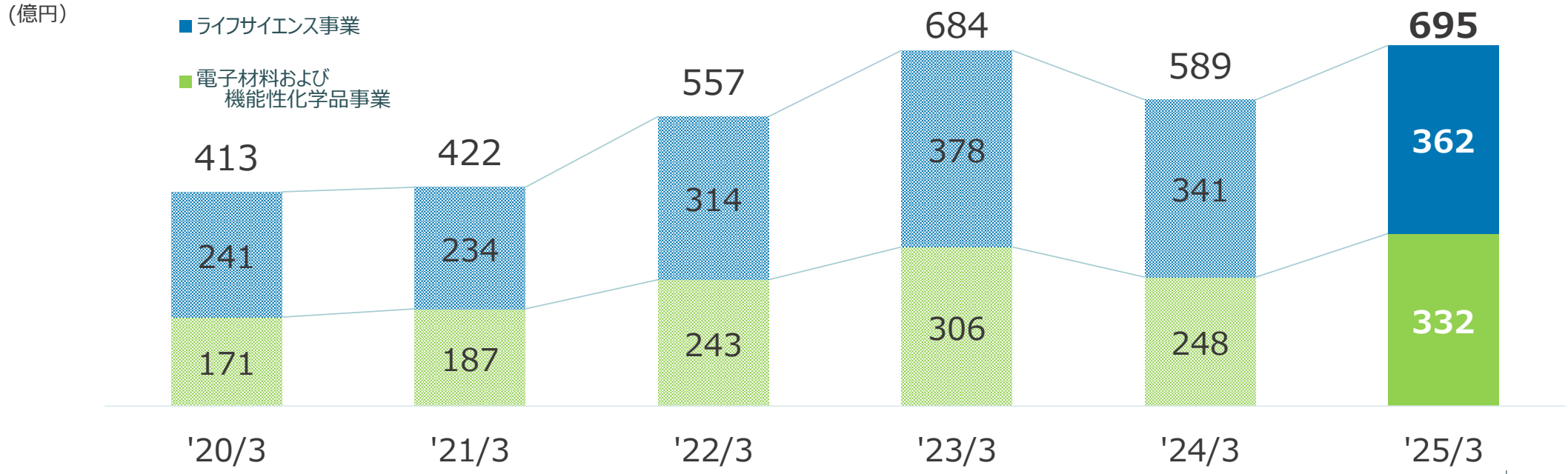
セグメント別売上高・営業利益 【前期比】

（単位：億円）		当期実績	前期実績	前年同期比 増減額	増減率
■ライフサイエンス事業	売上高	**362.8**	341.4	+21.4	+6.3%
	営業利益	**52.8**	56.3	△3.4	△6.2%
■電子材料および機能性化学品事業	売上高	**332.1**	248.2	+83.8	+33.8%
	営業利益	**131.7**	75.3	+56.3	+74.8%
（調整額）		**△22.3**	△20.8	△1.4	−
■営業利益（全社）		**162.3**	110.8	+51.4	+46.4%

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

セグメント別 【売上高】

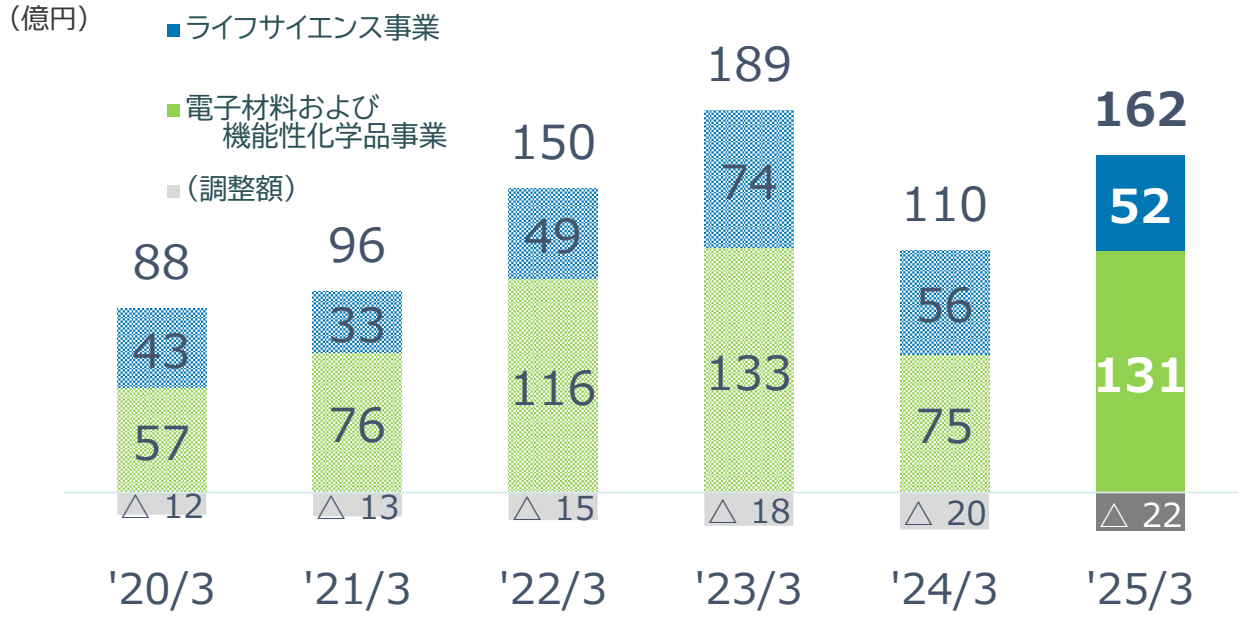
(単位：億円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	**2025年3月期**
売上高	413	422	557	684	589	**695**
ライフサイエンス事業	241	234	314	378	341	**362**
電子材料および機能性化学品事業	171	187	243	306	248	**332**

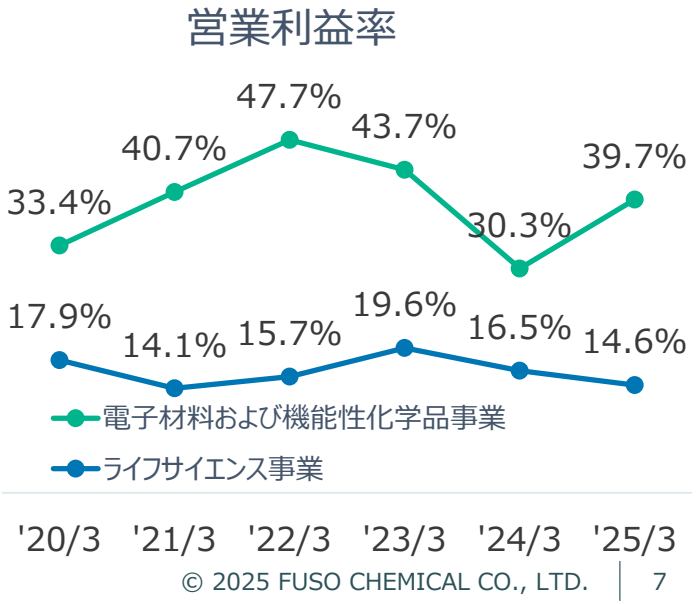


© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

セグメント別 【営業利益】

(単位：億円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	**2025年3月期**
営業利益	88	96	150	189	110	**162**
ライフサイエンス事業	43	33	49	74	56	**52**
電子材料および機能性化学品事業	57	76	116	133	75	**131**
(調整額)	△ 12	△ 13	△ 15	△ 18	△ 20	**△ 22**

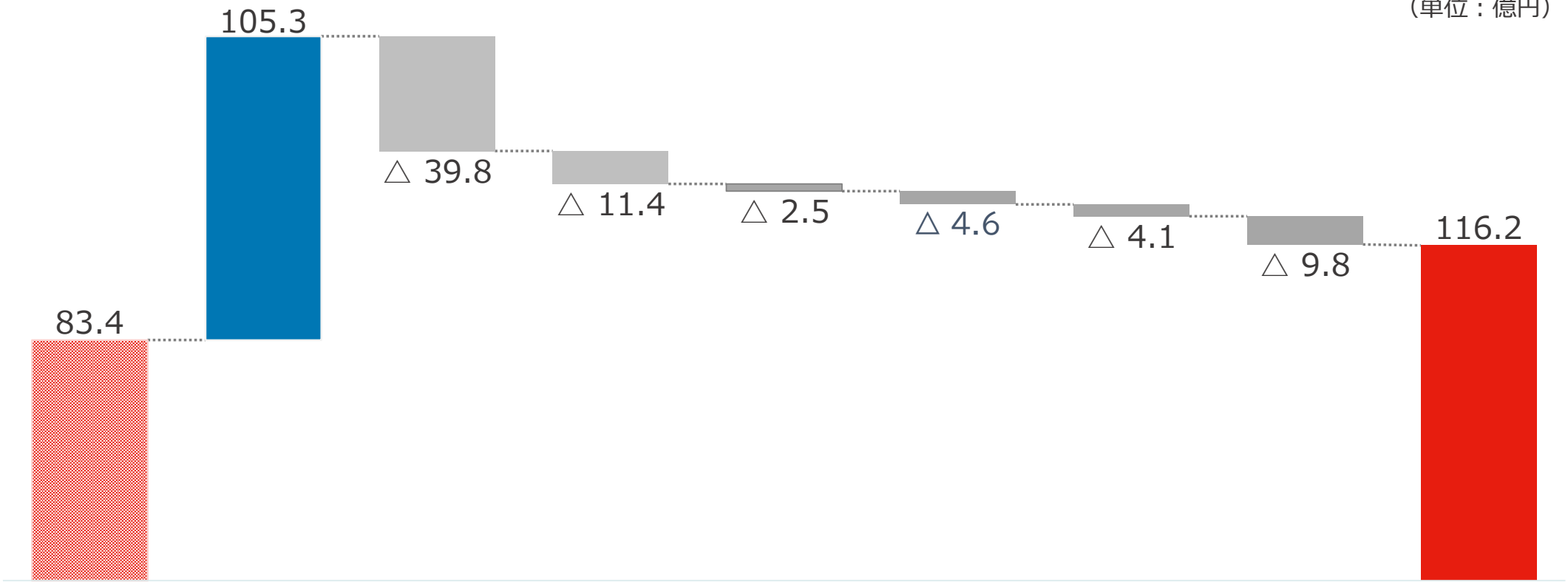




© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

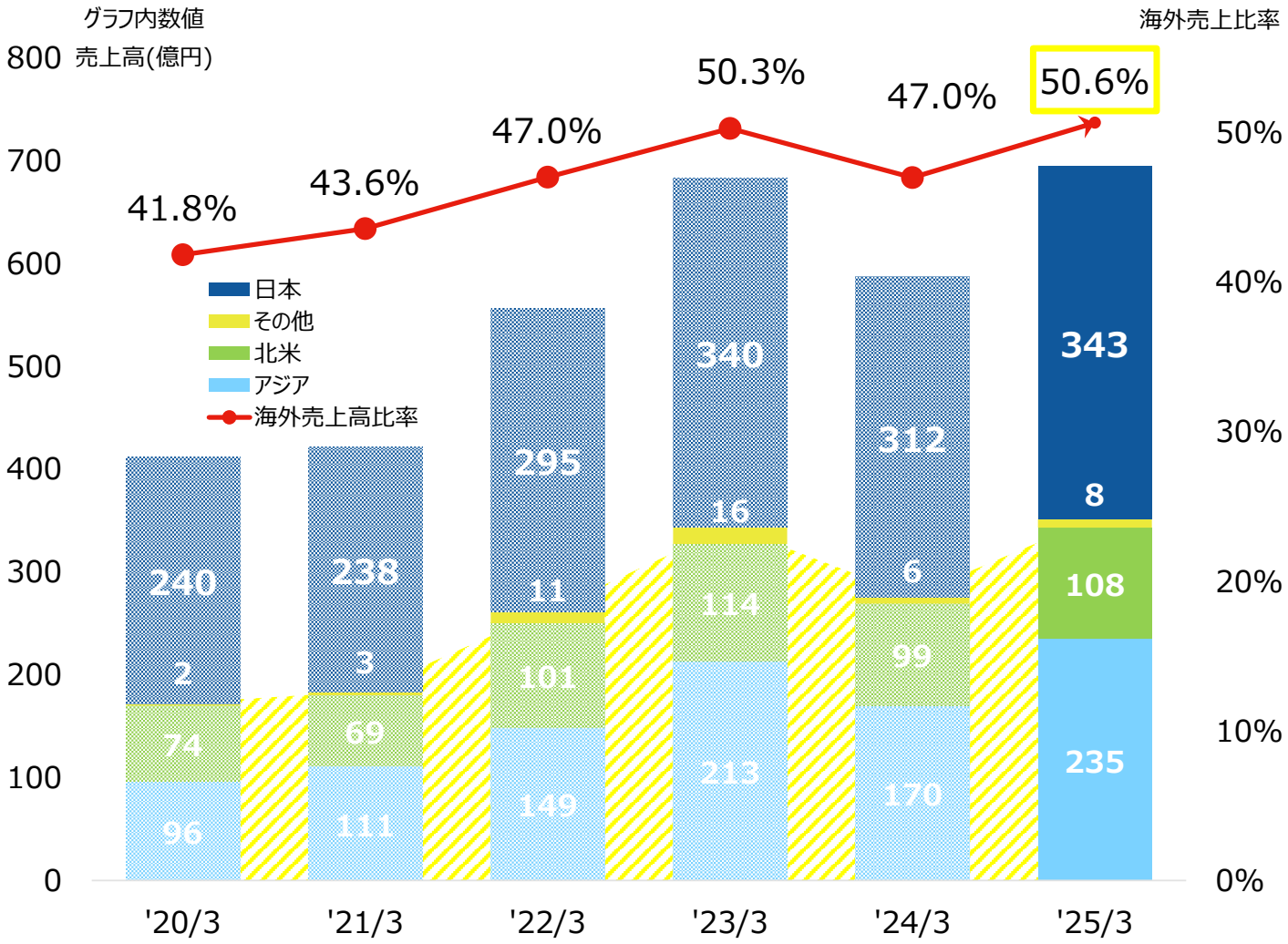
2025年3月期　当期純利益増減要因

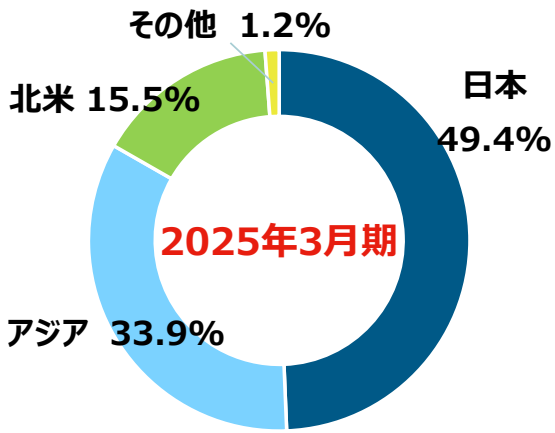
（単位：億円）

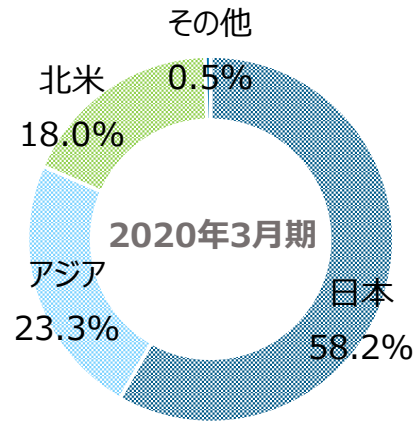


© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

海外売上高

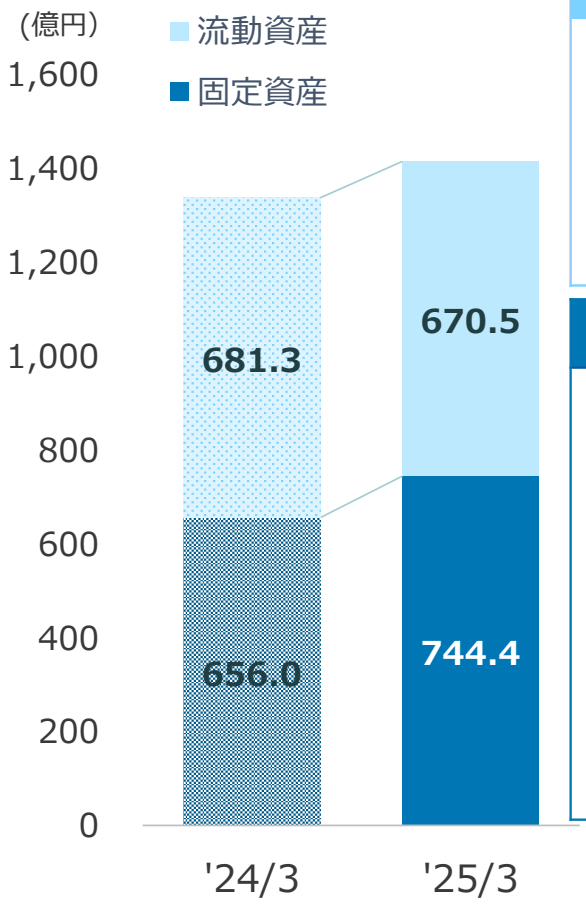






© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

資産・負債・純資産

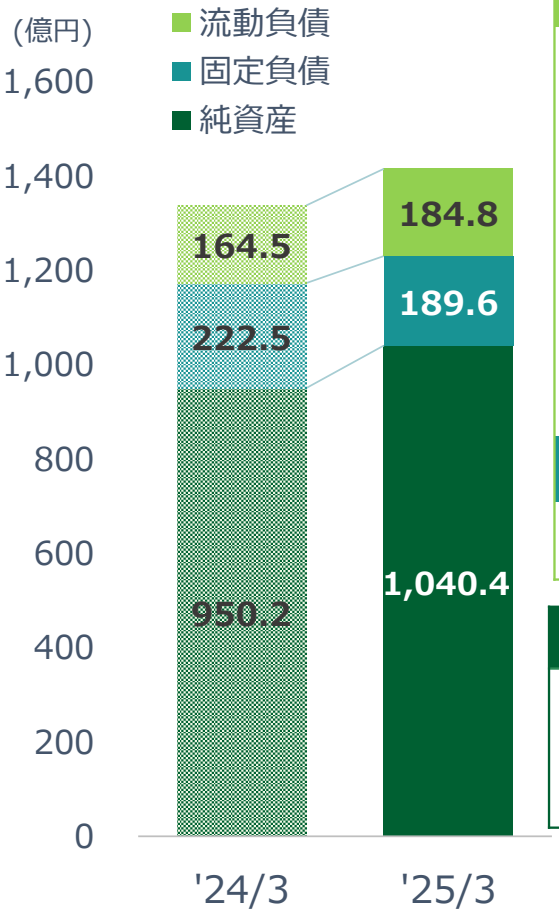


流動資産 (前期末比 △10億)

- 受取手形および売掛金 △4億
- 棚卸資産 ＋7億
- その他 △12億

固定資産 (前期末比 ＋88億)

- 建物および構築物 ＋36億
- 機械装置および運搬具 ＋34億
- 土地 ＋15億
- 無形固定資産 ＋8億
- 建設仮勘定 △5億



流動負債 (前期末比 ＋20億)

- 支払手形および買掛金 ＋7億
- 1年内返済予定の長期借入金 ＋31億
- 未払金 ＋6億
- 設備関係未払金 △30億
- 未払法人税等 ＋5億

固定負債 (前期末比 △32億)

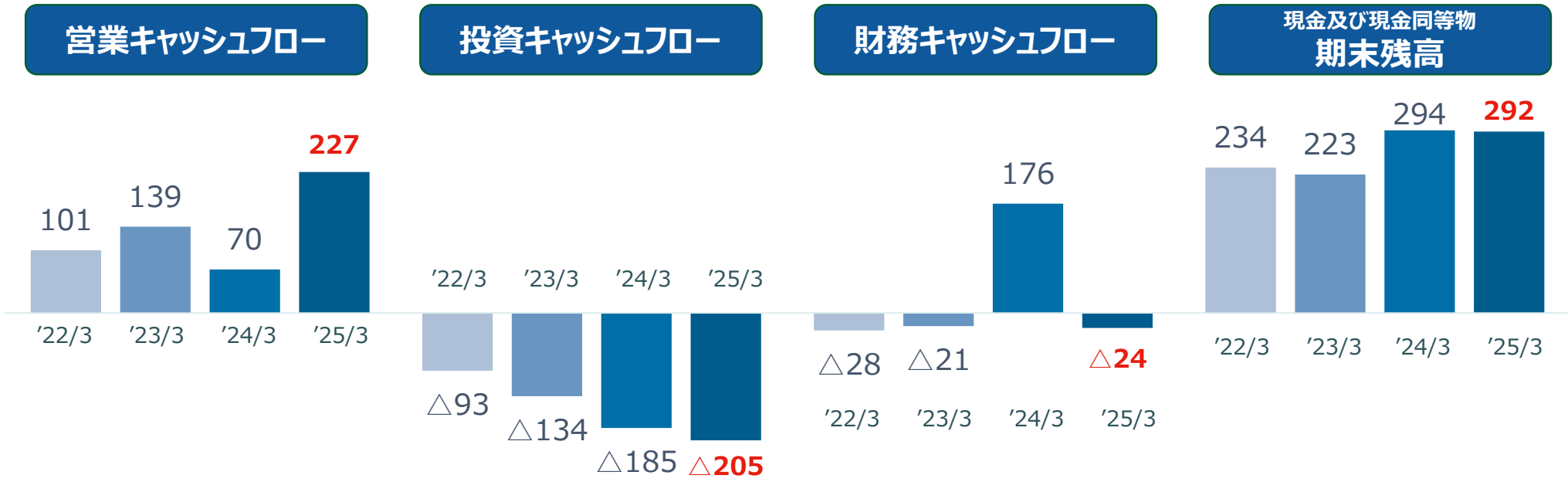
- 長期借入金 △31億

純資産 (前期末比 ＋90億)

- 利益剰余金 ＋92億
- 為替換算調整勘定 △1億

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

キャッシュフロー



単位：億円

■ キャッシュフロー主な内訳

営業活動によるキャッシュフロー

- 税金等調整前当期純利益 ＋162
- 減価償却費 ＋83
- 法人税等の支払 △37

投資活動によるキャッシュフロー

- 有形固定資産の取得 △183
- 無形固定資産の取得 △17

財務活動によるキャッシュフロー

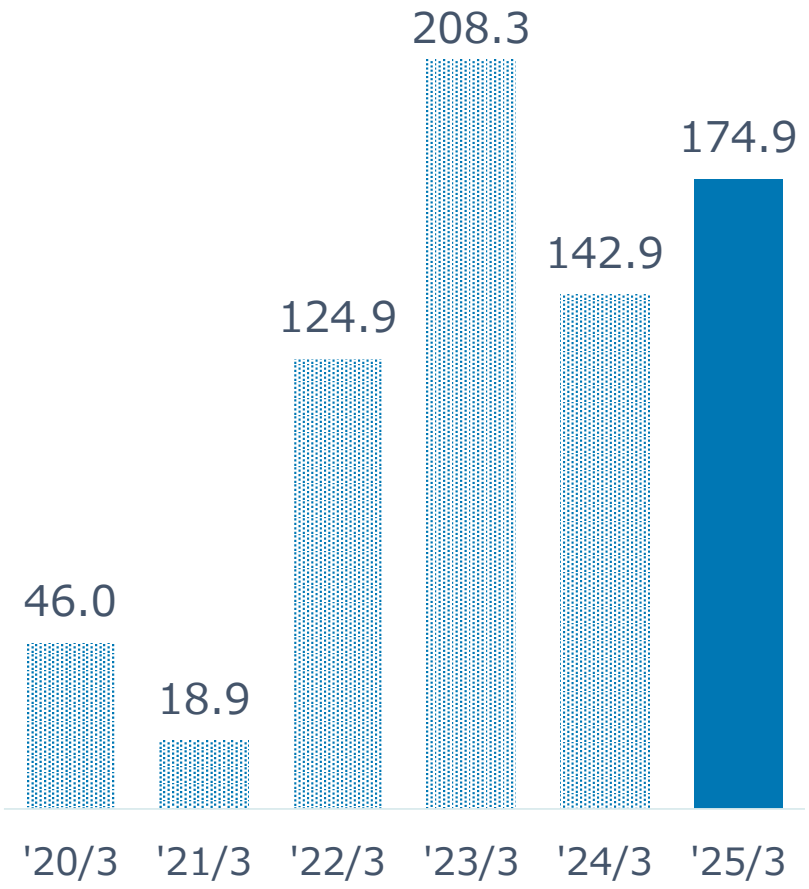
- 配当金の支払 △23

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

設備投資額・減価償却費・研究開発費

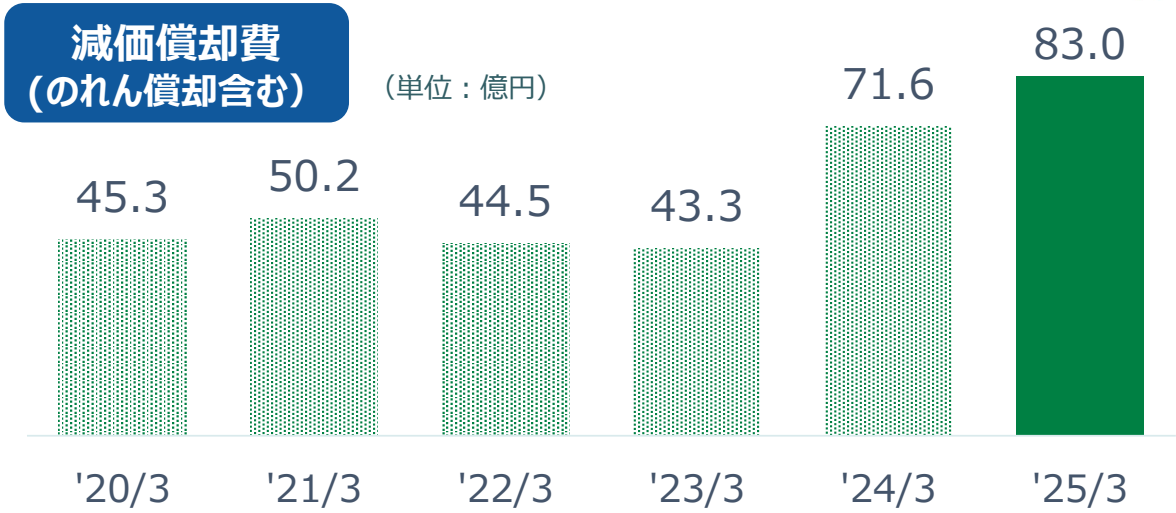
設備投資額

（単位：億円）



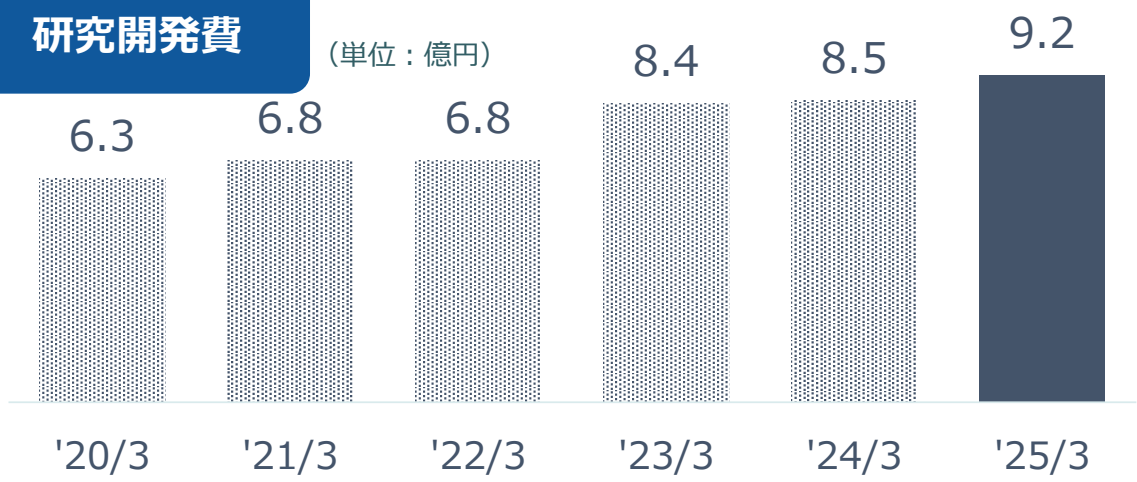
減価償却費（のれん償却含む）

（単位：億円）



研究開発費

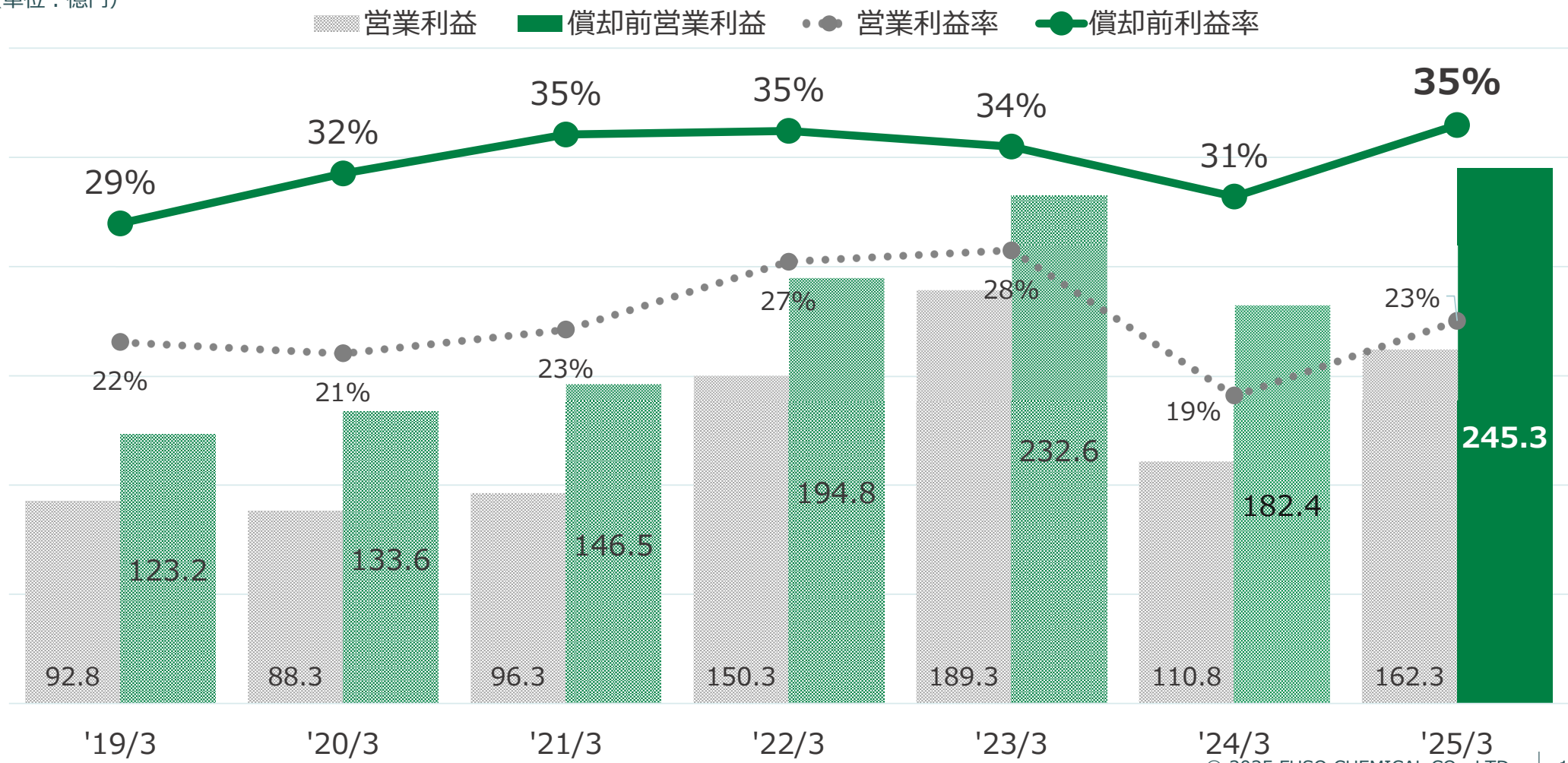
（単位：億円）



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

償却前営業利益

（単位：億円）



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

II.事業の概況

ライフサイエンス事業

FUSO CHEMICAL

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

事業内容

ライフサイエンス事業

- リンゴ酸類
- クエン酸類
- グルコン酸類
- フマル酸類
- ビタミンC類
- 食品添加物製剤類
- その他果実酸類
  （コハク酸類、乳酸類、酒石酸類）
- 無水マレイン酸類
- 高純度有機酸

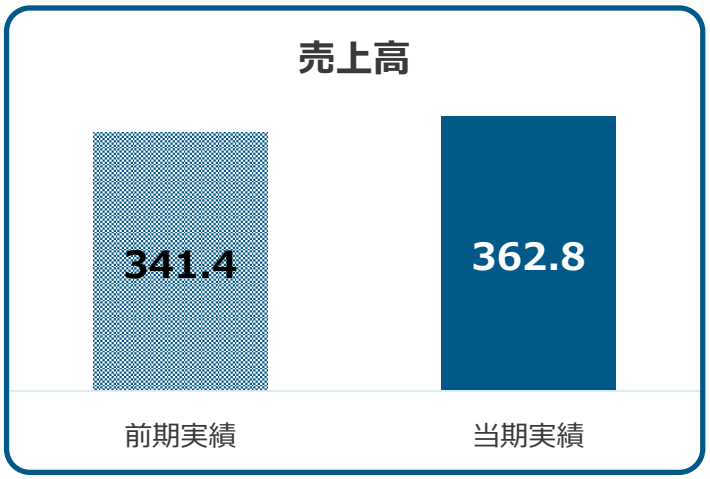
電子材料および機能性化学品事業

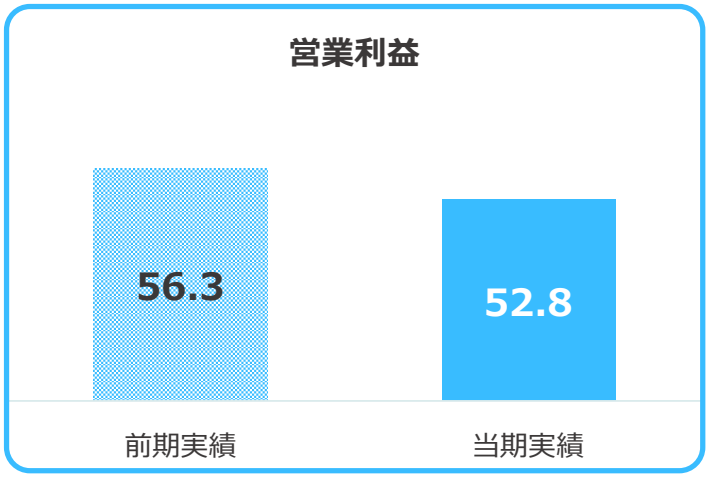
- 電子材料
  - 超高純度コロイダルシリカ
- 機能性化学品
  - 高純度オルガノシリカゾル
  - シリカナノパウダー
  - アルキルシリケート

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

ライフサイエンス事業　2024年度概況

（単位:億円）	前期	当期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	341.4	**362.8**	+21.4	+6.3% ↗
営業利益	56.3	**52.8**	△3.4	△6.2% ↘





単位：億円

売上高　増減要因

+
- 米国グルコン酸類のシェア回復
- ビタミンC類医薬品ビジネスの伸長
- リンゴ酸輸出増
- 国内工業用途の需要一部回復
- 海外子会社の円換算による増加

−
- クエン酸類国内販売価格の低下
- 製紙用途、塗料用途等需要低調

営業利益　増減要因

+
- 大口顧客でのシェア奪回
- 高付加価値ビタミンC類の販売増

−
- 円安による仕入れ価格高騰
- リンゴ酸販売海外での競争激化
- 鹿島事業所定修長期化による コスト増

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

重点施策

Ⅰ．海外ビジネス拡大

- リンゴ酸
- グルコン酸
- アジア（子会社）

Ⅱ．　国内シェア確保

- 果実酸
- ビタミンC類

Ⅲ．　新生産体制・効率化

- 鹿島事業所・大阪工場

Ⅳ．　FFAビジネスの面拡大

- 営業開発強化・グローバル展開

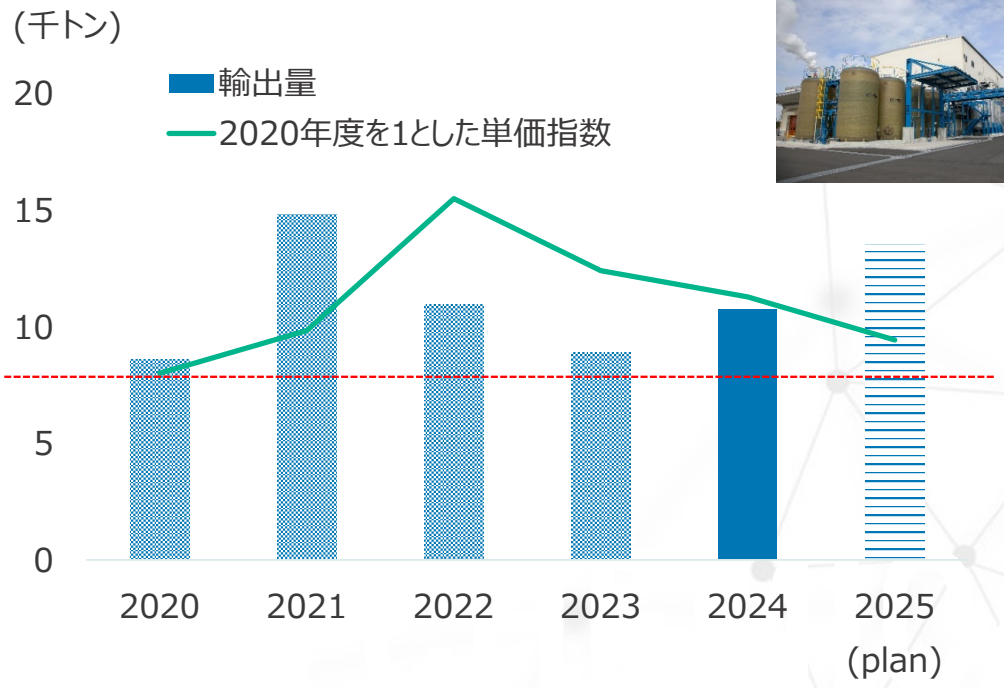
Life Science

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ-1. 海外ビジネス拡大_リンゴ酸類

2024年度実績

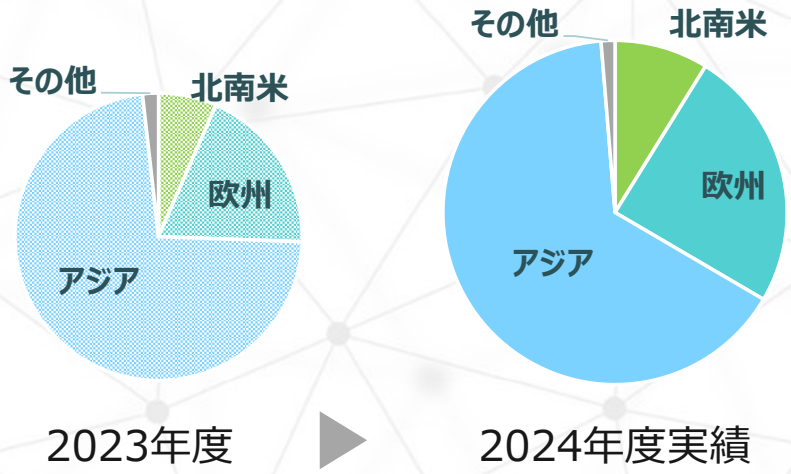
- 戦略的価格対応にて、市場シェア奪回（前年比約20%増）
- ドイツ、マレーシア、アメリカ、タイ、スペインで拡大
- 販売価格：円価10%下落（ドル価:15%下落）



2025年度計画

- 前年比25%以上の物量増を目指す
- アジア市場でのシェア拡大、需要回復による数量増
- エジプト、ポルトガル、北欧、メキシコなど新規先への販売強化
- 操業度アップによる、コストダウン

【海外地域別販売実績】



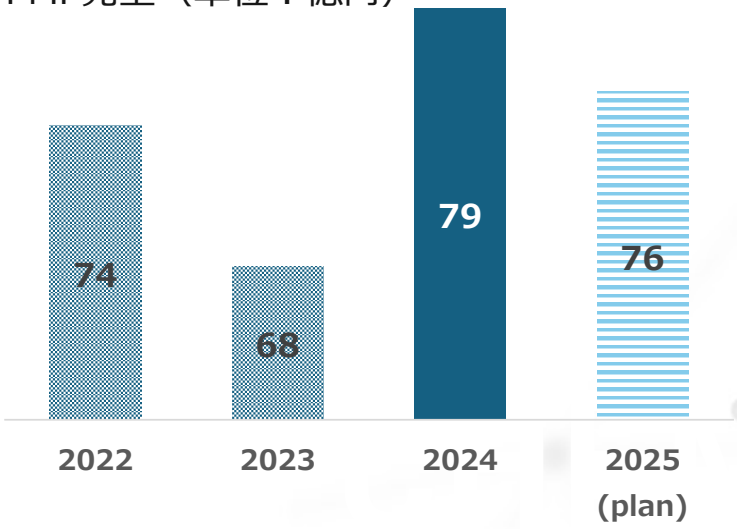
© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ-２．海外ビジネス拡大_グルコン酸類（PMP）

2024年度実績

- 設備増強（2023年12月完成)を活用した物量増
- 安定した製品供給体制構築
- 2024年初より、シェア奪還への価格対応
- 35%の販売物量増、利益は横ばい
- 売上　　：約79億円（過去最高）
  営業利益：約12億円（前年比99%）
  シェア　　：約8割 10%増の大幅回復

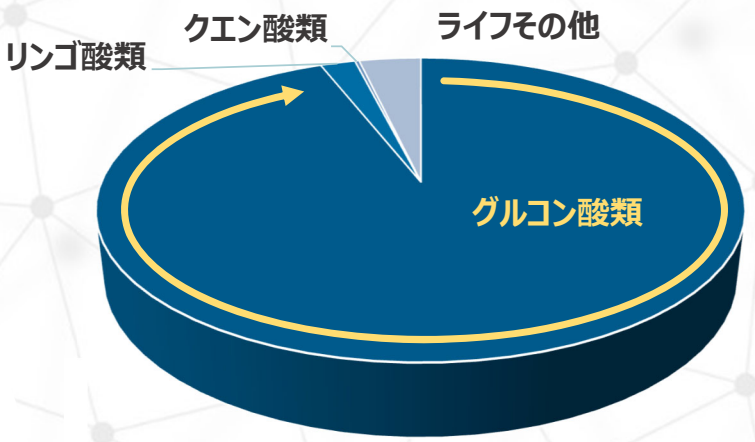
PMP売上（単位：億円）



2025年度施策

- 拡大したキャパの活用
- 安定した製造供給体制
- 米国内でのシェア拡大、3%物量増
- 営業、顧客とのアライアンス強化

2024年度製品別売上



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ-３．海外ビジネス拡大_アジア（子会社）

中国

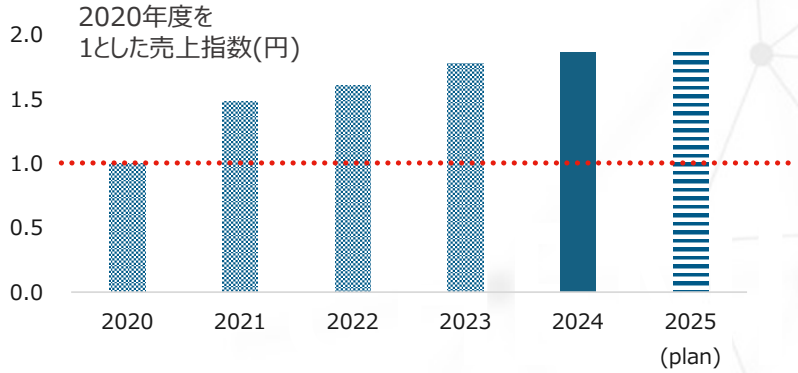
2024年度実績

- 国内販売前年比5%増（営業利益20%増）
- 添加物製剤11品、食品製剤2品　新商品上市
- FFA販売数量115%増（9展示会出展）

2025年度施策

- 顧客ニーズに対応した新製品上市
- 積極的な顧客訪問、展示会出展、情報発信
- FFA製造ライン拡充

中国国内販売額推移



タイ

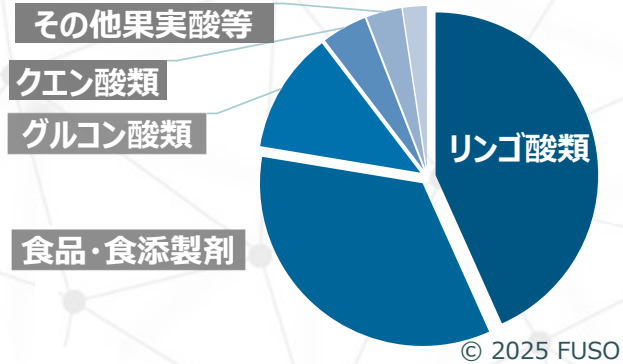
2024年度実績

- リンゴ酸の販売数量　30%大幅増
- FFA製品20%増
- 歩留り向上剤・日持ち向上剤の増加

2025年度施策

- 有機酸販売強化
- ベトナム市場での果実酸販売増
- 機能性製品、コート果実酸の拡売

2024年度製品別売上



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ-1.　国内シェア確保_果実酸類

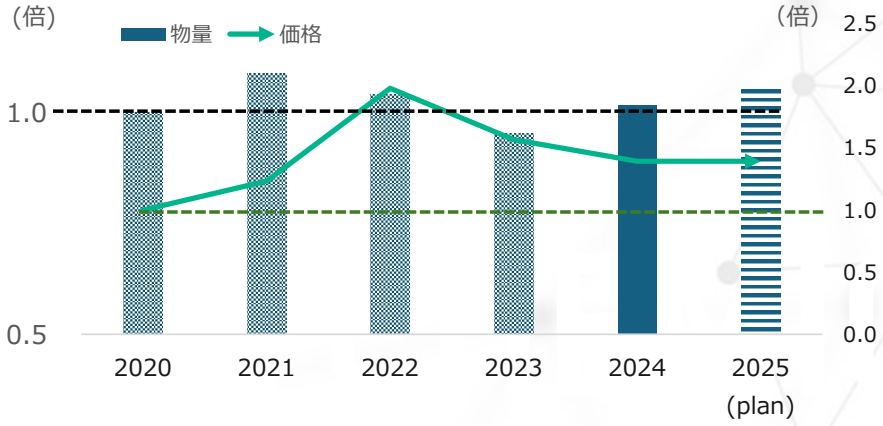
2024年度実績

リンゴ酸

- 食品向けはおおむね堅調に推移
- 工業用途（メッキ・洗浄剤）回復。前年比25%UP
- 2月から値上げ

クエン酸

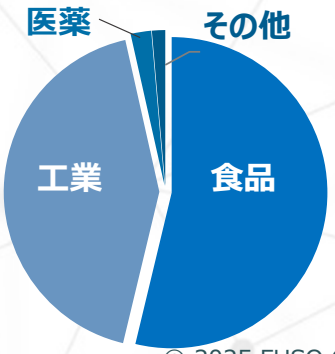
- 10%の価格対応により、物量7%奪回、シェア回復
- 大手飲料向けは入札不調、5%ダウン
- 大口洗剤メーカー向け数量回復（20%アップ）



2025年度施策

- タイムリーな価格改定と市場シェアの最適化
- 粗利の最大化を目指す
- 積極的な新規用途開拓（飼料、農薬用途など）

- 前年比5%以上の物量増を目指す
- 大手飲料メーカー入札案件を確実に獲得
- 顧客ごとに異なる扶桑品の競争優位性を分析・把握し、利益率の向上を図る



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ-２．　国内シェア確保_ビタミンC類他

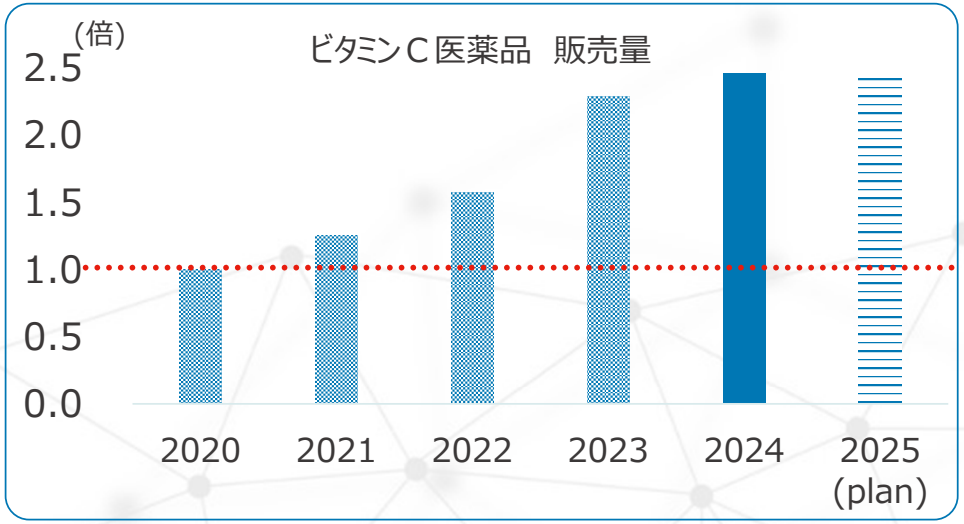
ビタミンC

2024年度実績

- 物量：前年比5%増。　医薬品用途需要増
- 価格：製販バランス調整による利益最大化
- 増産体制及びOEMによる供給補完

2025年度施策

- 需要増に対応できる安定的な供給体制構築
- メインユーザーへの販売増、その他用途の需要取り込み
- リソースを活かした一般用/医療用医薬品へ提案促進



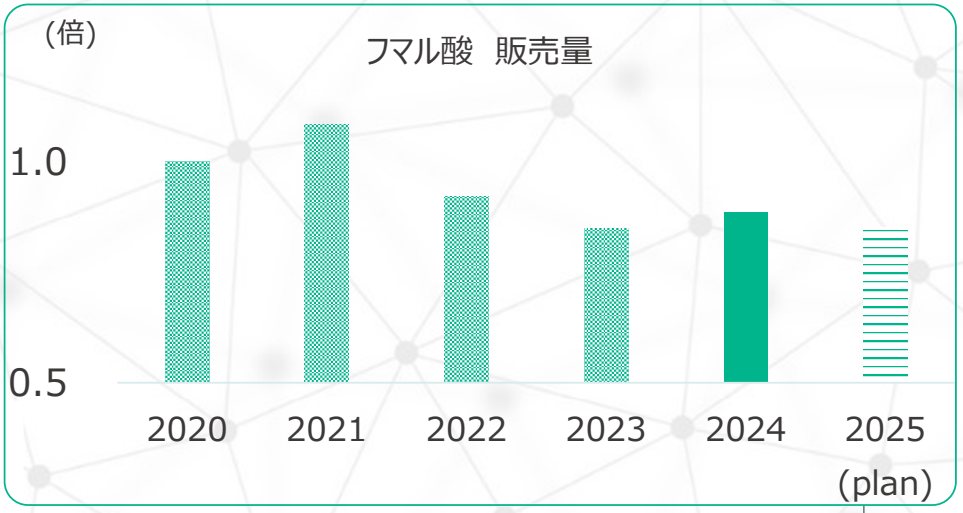
フマル酸

2024年度実績

- 入浴剤　大口顧客でのシェア確保
- 製紙、不飽和ポリエステル、塗料等需要が低調

2025年度施策

- 主要用途需要低調のため5%物量減
- 物量確保の価格対応



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅲ.　新生産体制･効率化

	2024年度実績	2025年度施策	中長期
大阪工場	• 適切な製販バランス • ビタミンC顆粒品の増産対応【新大阪】 • 拠点間の人事交流 • 拠点横断的な安全衛生活動の開始	• 耐震補強工事の実施 • 新事務所棟の建設準備 • 多能工の養成	• 設備老朽化 • 世代交代 • 省力化
鹿島事業所	• ベンゼンタンク他　定修 • アプリシャス内製化設備本格生産準備 • 拠点横断的な安全衛生活動の開始	• マレイン酸タンク他定修 • 有機酸設備老朽化対応 • 新分析棟の建設準備	• 工事期間の在庫調整 • 2工場間の効率的生産 • 自動化･省力化･DX • 人員増･適正配置

安全･環境対応／安定操業／保全体制の充実

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅳ.　FFAビジネスの面拡大

営業開発強化

- 新製品の採用数加速
  コート果実酸、米飯向け製剤
  酸化防止製剤、褐変防止製剤
- 高純度有機酸 ”アプリシャス”
  内製化完了による本格始動

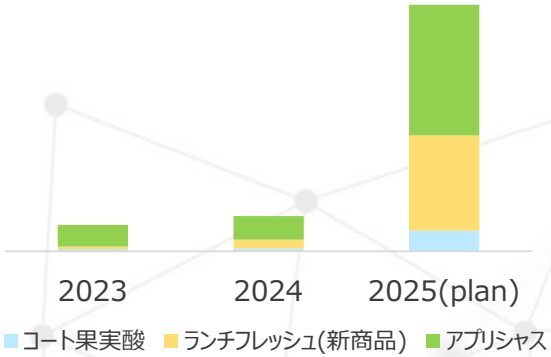
グローバル展開

【中国】
日持ち向上剤、無リン保水剤

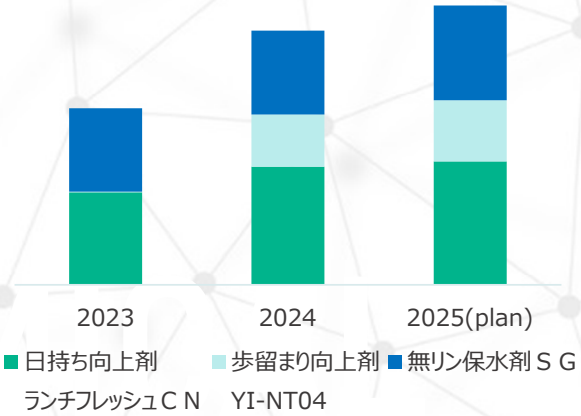
【タイ】
歩留り向上剤、日持ち向上剤

【国内】
アプリシャス、米飯加工用製剤

国内FFA製品上位3品目(数量)



海外FFA製品上位3品目(数量)



FFAとは？

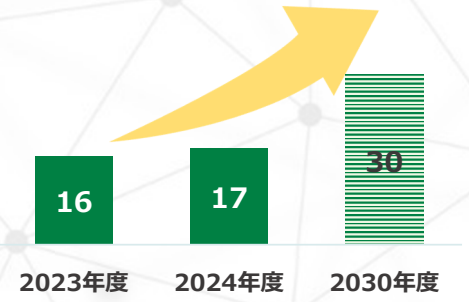
食品添加物製剤
(**F**ormulation of **F**ood **A**dditives)

機能性食品素材・食品添加物
(**F**unctional **F**ood Material and Food **A**dditive)

機能性果実酸
(**F**unctional **F**ruits **A**cid)

FFA売上金額

2030年度までに
30億円以上



中期販売　目標

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

II.事業の概況

電子材料および機能性化学品事業

FUSO CHEMICAL

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

事業内容

ライフサイエンス事業

- リンゴ酸類
- クエン酸類
- グルコン酸類
- フマル酸類
- ビタミンC類
- 食品添加物製剤類
- その他果実酸類
  （コハク酸類、乳酸類、酒石酸類）
- 無水マレイン酸類
- 高純度有機酸

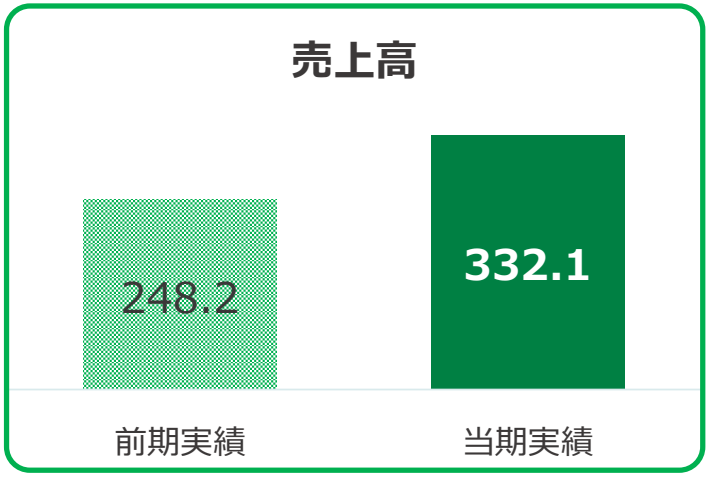
電子材料および機能性化学品事業

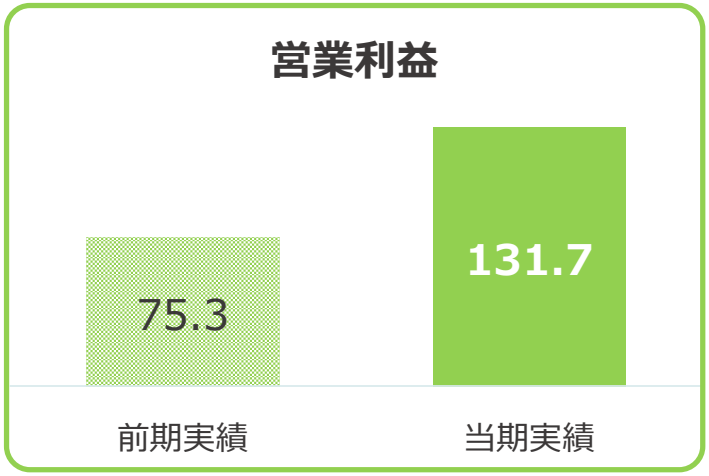
- 電子材料
  - 超高純度コロイダルシリカ
- 機能性化学品
  - 高純度オルガノシリカゾル
  - シリカナノパウダー
  - アルキルシリケート

© 2023 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

電子材料および機能性化学品事業　2024年度概況

（単位:億円）	前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	248.2	**332.1**	+83.8	+33.8% ↗
営業利益	75.3	**131.7**	+56.3	+74.8% ↗





単位：億円

	売上高　増減要因
＋	• コロイダルシリカ販売数量増加 • 円安による売上増効果 • AI半導体向けの需要が好調 • 販売製品構成の変化
－	• PC/スマートフォン向け等の需要が低調

	営業利益　増減要因
＋	• 販売数量増に伴う稼働率UP • 新規生産設備の高稼働 • 生産現場における生産効率化 • 円安による利益増
－	• 減価償却費の増加 • 生産ライン増加に伴う人件費・修繕費の増加 • 資材コストの上昇

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

重点施策

Electronic Materials

Ⅰ. 半導体市場需要回復への対応

- 最先端技術への対応、新規需要の取り込み
- 各顧客の実需予測に基づく生産・在庫・出荷調整

Ⅱ. 新生産体制の早期確立

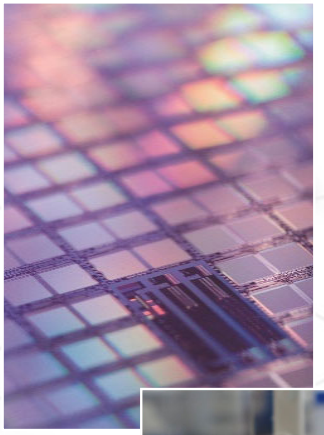
- 鹿島（Ⅰ期・Ⅱ期）　京都新ライン　稼働・認定
- 高濃度化及び高生産性製品の拡充

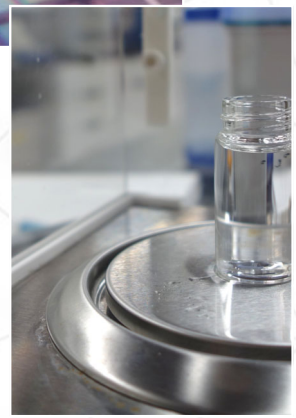
Ⅲ. 外部環境変化への迅速・柔軟な対応

- コストアップの価格転嫁継続
- サプライチェーンリスクへの対応・米中半導体戦争

Ⅳ. 次世代製品開発

- 中空サブミクロンシリカの上市
- 新たな付加価値を生み出す次世代材料開発





© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ. 半導体市場需要回復への対応

2024年度 施策	2024年度 実績
製造原価変動に伴う製品価格への転嫁 （原材料・燃料価格 及び その他コスト上昇等）	各顧客に対し実行
鹿島Ⅰ期新ライン 顧客認定完了及び稼働率UP	年度末にフル稼働達成
京都工場新ライン 認定開始	認定対象を選定 顧客・製品別 製造ライン戦略を作成
正確な各顧客実需予測を反映した 生産・在庫・出荷調整実施	各顧客に対し長期フォーキャスト確認 顧客・製品別 製造ライン戦略作成
Beyond 2nm世代に向けた 顧客要求事項を各社より収集	TSMC向けN2世代での採用確認 A16/A14世代での要求事項確認

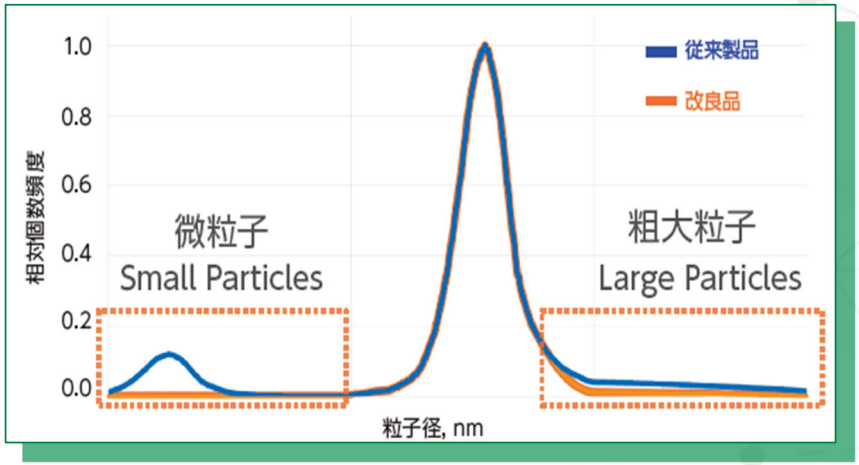
© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ－1.　最先端技術への対応

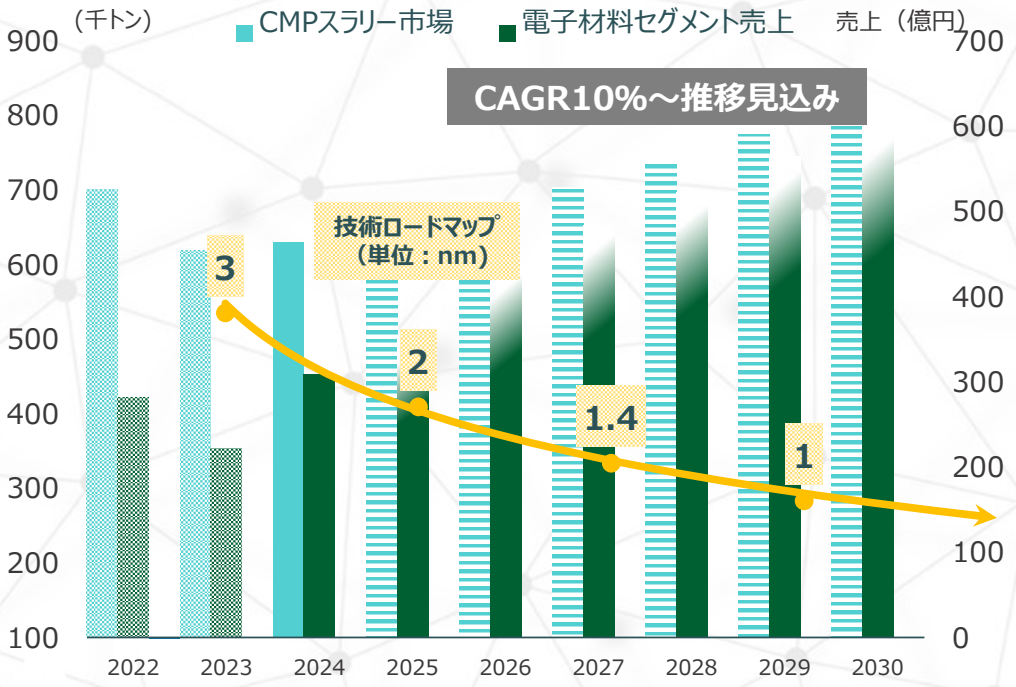
最先端は「nmからÅへ」、顧客要求事項、高純度化必須となる需要情報収集

■ 品質向上への技術的取り込み

- 粒度分布制御技術
  粗大粒子・微粒子を低減した製品のラインナップ拡充



■ CMPスラリー市場/売上目標



(引用元) CMPスラリー市場予測：富士キメラ総研　　技術ロードマップ：imec

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ－1.　新規需要の取り込み

■ AI半導体等によるプロセス構造変化に伴う新規需要の取り込み

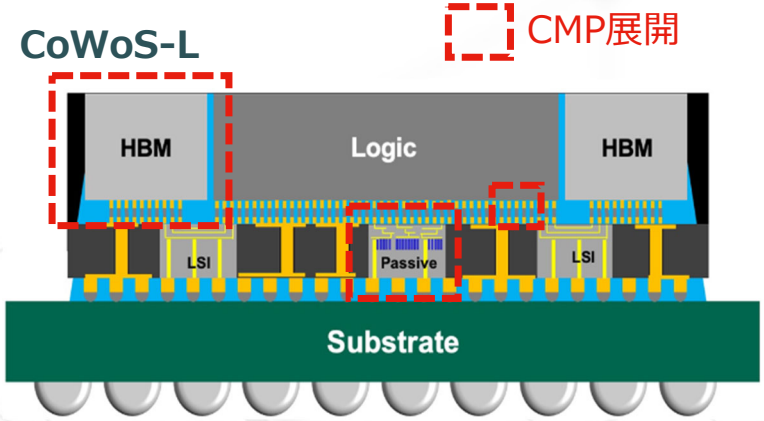
- Advanced Packaging

  HBM（ハイブリッドボンディング）、CoWoSプロセス

- BSPDN (Back-Side Power Delivery Network)

  ウェハーバックサイド研磨、Ru・Moなど新規導体研磨

  ➡ 砥粒残渣レス、凹凸制御、研磨力向上砥粒



（引用：TSMC　H.P.）

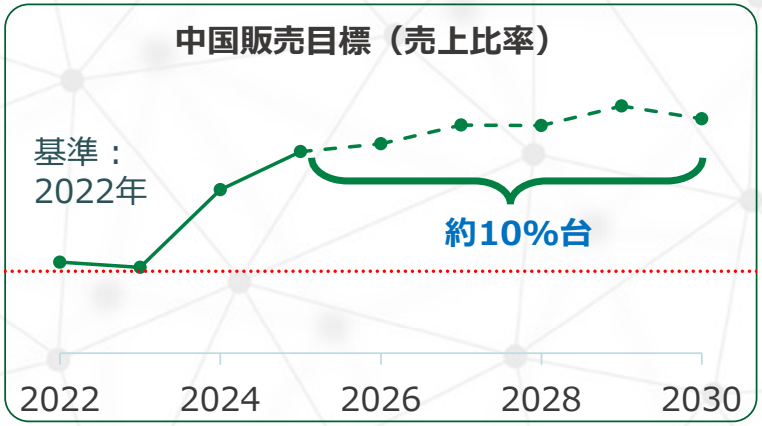
■ 中国市場への取り組み

- コロイダルシリカ継続販売

  優良CMPスラリーメーカー向け販売を拡大

  中国半導体市場の動向を注視

  ➡ 地政学リスクに左右されないビジネス展開



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

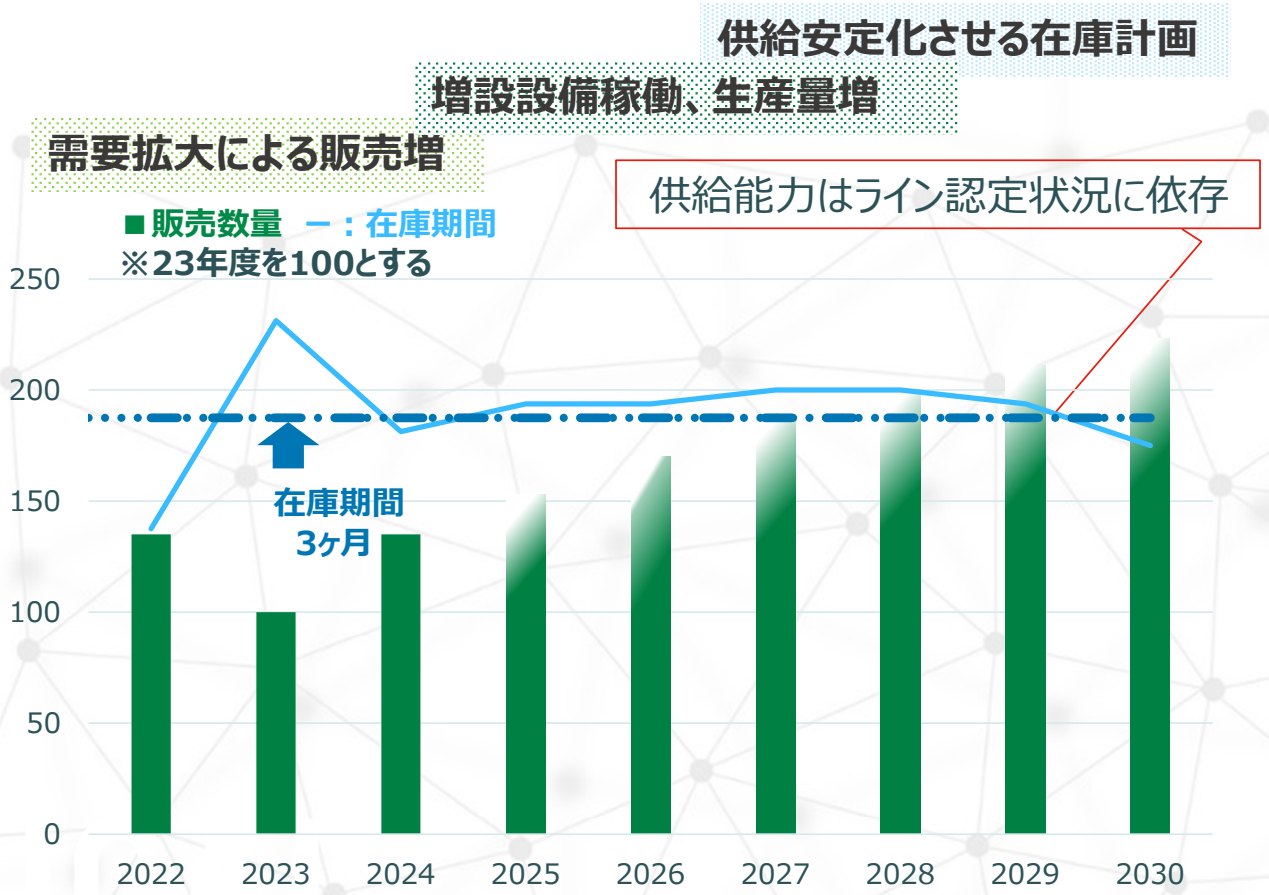
Ⅰ－2.　各顧客の実需予測に基づく生産・在庫・出荷調整

■ 各顧客の実需予測

- 2025年度は2024年度を上回る需要
- 2030年度まで需要拡大見込み
- 2027～28年度にAI需要の伸びが鈍化

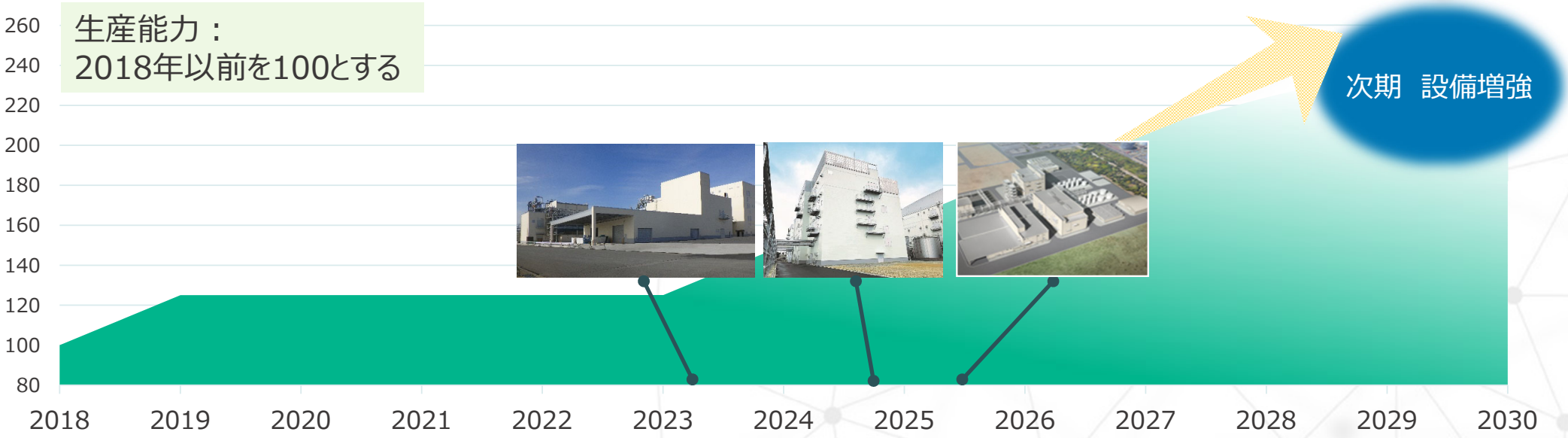
■ 次期投資費用

- 需要予測に伴う、各社需要量確定
- 生産量・次期投資判断 (規模・時期)
- 費用按分・負担額確定
- 顧客との合意形成を開始



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ－1.　鹿島（Ⅰ期･Ⅱ期）　京都新ライン　稼働･認定



■ 鹿島Ⅰ期　：2024年度末　フル稼働
　　2025年度末　フル稼働継続

■ 鹿島Ⅱ期　：2025年7月完工
　　4Qより試作品。早期認定完了

■ 京都新ライン：早期認定完了
　　来期生産稼働予定

増設ライン稼働状況

増設	2023		2024		2025		2026	
	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H
鹿島Ⅰ期	●	認証～試作品				量産体制		
鹿島Ⅱ期					●			
京都新ライン				●				

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ－2.　高濃度化及び高生産性製品の拡充

生産効率の高い製品（高濃縮製品）

自社での生産性改善　＋　半導体製造工程における歩留改善

➔ **付加価値の高い製品を開発･提供**

■ 効率性への挑戦

- 高濃度/高生産性品目　製品のラインナップ拡充

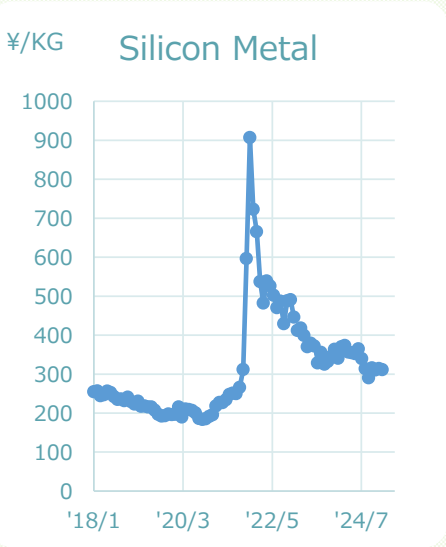
➡従来比約**1.5倍**の効率化を達成　顧客提案開始

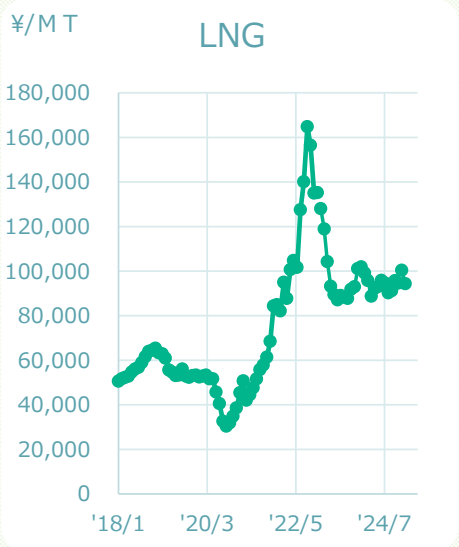
© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅲ.　外部環境変化への迅速・柔軟な対応

1 コストアップの価格転嫁継続

- 各顧客に対し価格転嫁を実施
- コスト増への対応：エネルギー、原材料費
  販売価格への転嫁
- 生産効率アップ、購入量増に伴う交渉力アップ
  （自社努力）その他効率化





グラフ：「財務省貿易統計」を元に当社で作成

2 サプライチェーンリスクへの対応

- 金属ケイ素購入国の分散
  （マレーシア・ブラジル産など 比率拡大
  2030年：5割以上目標）
- その他原材料：複数購買、使用量削減等

3 米中半導体摩擦・米相互関税

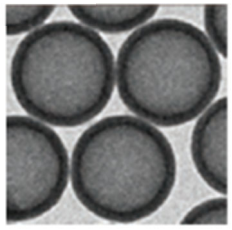
- 相互関税の直接の影響は売上数%程度
  今後の相互関税の動向注視
- 半導体製品の輸出入規制による直接的な影響なし
  今後の動向確認
- 中国市場向けコロイダルシリカ販売は堅調

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅳ.　次世代製品開発

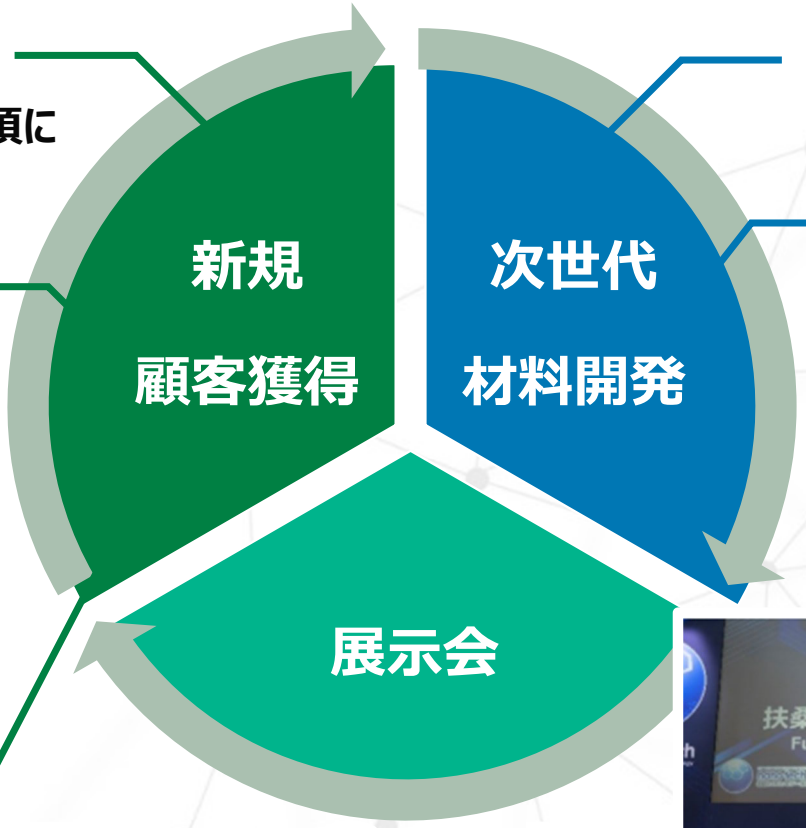
□ CMP
➡ A16/A14世代向け要求事項に
対応したサンプルワーク開始

□中空サブミクロンシリカ
ミラリカ™ /Miralica™



➡ 低誘電材用途向けを中心に
複数社サンプルワーク継続

□ 化粧品用途材料
➡ サンプルワーク継続



□ CMP
最先端品、高レート･高生産性

□ 新規材料開発
・高純度オルガノゾル
・多孔質シリカ
・シリカナノシート
・FDC ™法※によるシリカコート材料

※FUSO　Dispersible　Coat：
FUSO独自の粒子コート技術

【nano tech 2025】
「マテリアル賞」を受賞

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

II. 事業の概況

経営企画

FUSO CHEMICAL

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について -現状分析-

経営指標	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
株価	4,510円	3,765円	4,605円	3,440円 ※3/31終値
PBR	2.1倍	1.5倍	1.7倍	1.2倍
ROE	15.4%	17.4%	9.1%	11.7%
株主資本コスト	6.3%	6.3%	6.3%	7.5～8.5%
ROIC	14.8%	16.1%	6.9%	9.4%

資本効率

- **PBR：**継続的に1倍超えを維持
- **ROE：**資本コストを上回るレベルで推移

  過去最高の償却前利益でROEは大幅改善
- **株主資本コスト：**
  7.5~8.5%に上昇しているとの認識

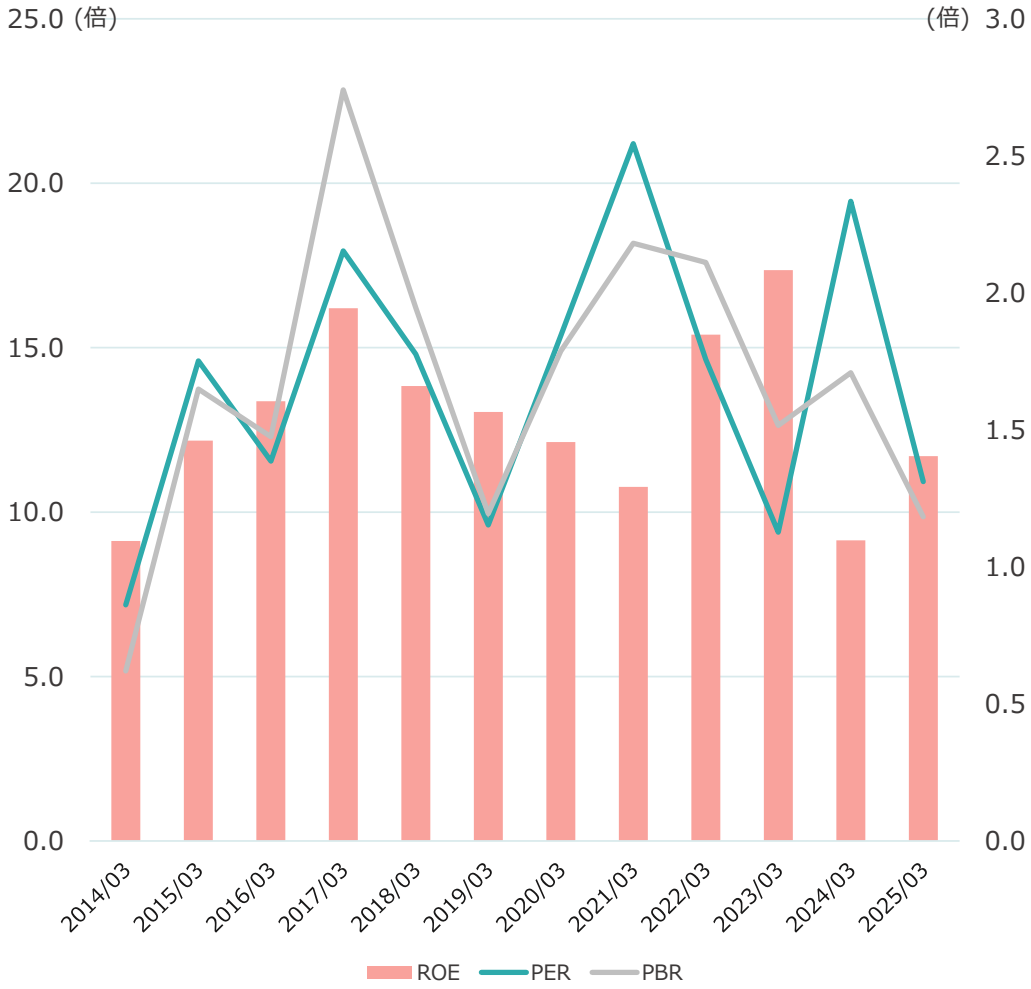
  ①CAPM理論
  ライフサイエンス事業部:6%、
  電子材料事業部:8.5%

  ②益利回り法:7.5%
- **ROIC：**6.9%→9.4%まで回復。

市況や外部環境に負うところも多いが、地道な効率化を積み重ね、エクイティスプレッドの拡大を進める

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について -現状分析-



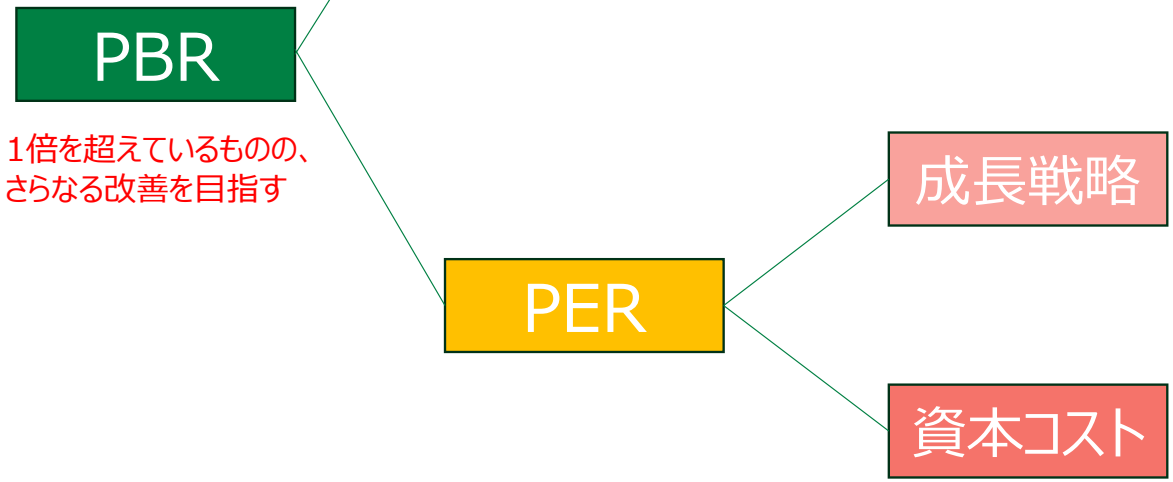
株価に関する市場評価

- **PBR：**2.5倍を超える年度もあったが、半導体サイクルの影響を受け低迷し、1.5倍を下回る
- **PER：**コロナ前には急速なEPS成長、業界全体への中長期的期待感が増幅し、20倍を超える年度もあったが、半導体に関しての米中対立や不透明感もあり、業界全体が低調な評価を受けており、東証平均を下回っている。

参入障壁も高い為、中長期にわたっての成長期待は依然高く、設備等の先行投資を進めている。数年後を見据え、丁寧で積極的なIR活動を継続し、成長の期待度・資本市場の評価の向上に努める

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応



- 収益の最大化
  海外販売の拡大→海外比率50%達成
- 新設備の稼働アップ
  鹿島Ⅰ期工事完成→認定作業が進み、フル稼働
- 業務効率化→生産本部発足、DX化の推進

- 株主還元方針の変更
  →16期連続の配当維持/増配を実施、累進配当へ変更
- キャッシュアロケーション、設備投資の最適化
  →新研究開発拠点設立準備を進める

・資本市場との建設的対話の実現
・海外顧客・最先端用途での取り込み
・成長戦略・開示情報等の情報量アップと内容の充実
・事業リスク・マネジメントコントロール
・非財務情報の積極開示
・経営トップのIRへの積極関与

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

取組み方針に関する振り返りと成果

1 収益性の向上　ROE･ROIC10%以上

- 2024年4月　生産本部を発足
- 京都事業所設備増強　2024年10月完成　鹿島事業所と2拠点の新生産能力を最大限に活用
- 過去最高償却前利益24,539百万円達成（売上比率35.3 %）
- 新規顧客開拓、販売店･顧客との関係強化、物量増による操業度アップ

ROE / ROIC　11.7% / 9.4%
海外比率　50.6%に改善

2 市場への的確な情報提供によるβ値の低減

- 任意開示も含め積極的な情報開示
- 機関投資家との対話:前年対比１割アップ(年間150件以上の取材対応)

3 持続的な成長に向けた投資機会の見極めと資本コストを意識した資金調達の実施

- 事業融合型の新研究開発拠点設立計画→2028年稼働目標
- 資金調達、M&Aで新たな進展はなし　継続した設備投資に関し検討中

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

III. 2026年3月期 業績予想

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

業績予想

(単位：億円)

	2026年3月期	前年実績	対前年比
売上高	727	695	+4.6%
営業利益	140	162	△13.7%
当期純利益	94	116	△19.1%
償却前営業利益	255	245	+3.9%

- 海外市場でシェアをアップ
- 利益率の高い製品販売に注力
- 増設設備の本格稼働で売上増と効率化によるコスト圧縮

前提

	2026年3月期	前年実績
年間為替レート	140円	152円
ベンゼン価格 (※)ENEOS ACP価格参照	前年より1割程度安	996＄/t (年間平均)
製造コスト	減価償却費増加	水光熱費の高騰
その他	半導体市況回復	半導体市況緩やかな回復

為替感応度	売上高　：1.8億円 営業利益：6千万円（前年実績）

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

業績予想

（単位：億円）	上期計画 2026年3月期 上期	前年対比	2025年3月期 上期実績	通期業績予想 2026年3月期	前年対比	2025年3月期 通期実績
売上高	**363.0**	**4.4%** ↗	347.5	**727.0**	**4.6%** ↗	695.0
■ライフサイエンス事業	179.5	△3.8% ↘	186.6	358.5	△1.2% ↘	362.8
■電子材料および機能性化学品事業	183.5	14.1% ↗	160.8	368.5	10.9% ↗	332.1
営業利益	**79.0**	**△3.0%** ↘	81.4	**140.0**	**△13.7%** ↘	162.3
■ライフサイエンス事業	26.5	△3.3% ↘	27.4	54.0	2.1% ↗	52.8
■電子材料および機能性化学品事業	65.5	0.5% ↗	65.1	111.0	△15.7% ↘	131.7
（調整額）	△13.0		△11.1	△25.0		△22.3
経常利益	**76.5**	**△3.8%** ↘	79.4	**138.0**	**△16.7%** ↘	165.6
当期純利益	**52.5**	**△6.4%** ↘	56.0	**94.0**	**△19.1%** ↘	116.2
償却前営業利益	**127.0**	**7.2%** ↗	118.4	**255.0**	**3.9%** ↗	245.3
1株当たり当期純利益	**148.9円**	**△6.4%** ↘	159.0円	**266.6円**	**△19.1%** ↘	329.6円

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

減価償却費見込

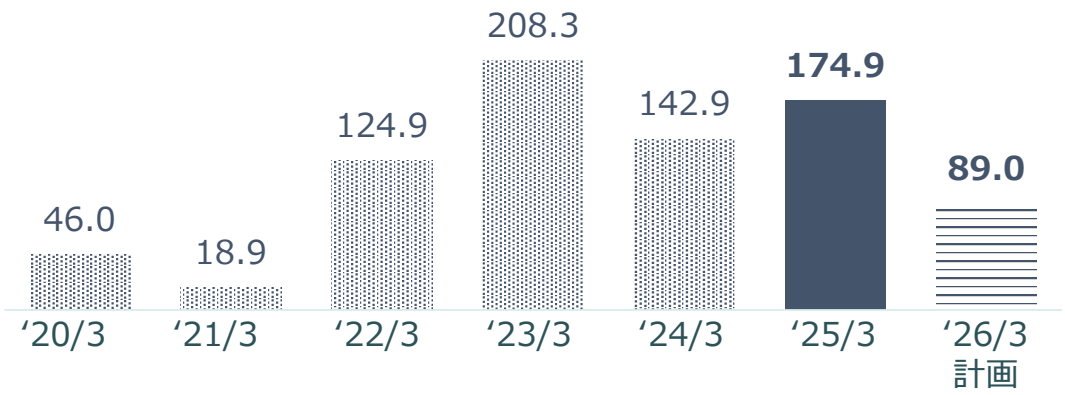
2025年3月期～増加

- ライフサイエンス事業 ： • 鹿島事業所事務所棟
- 電子材料事業 ： • 鹿島事業所事務所棟
  • 京都事業所償却(2025年1月～)

2026年3月期～大幅増見込

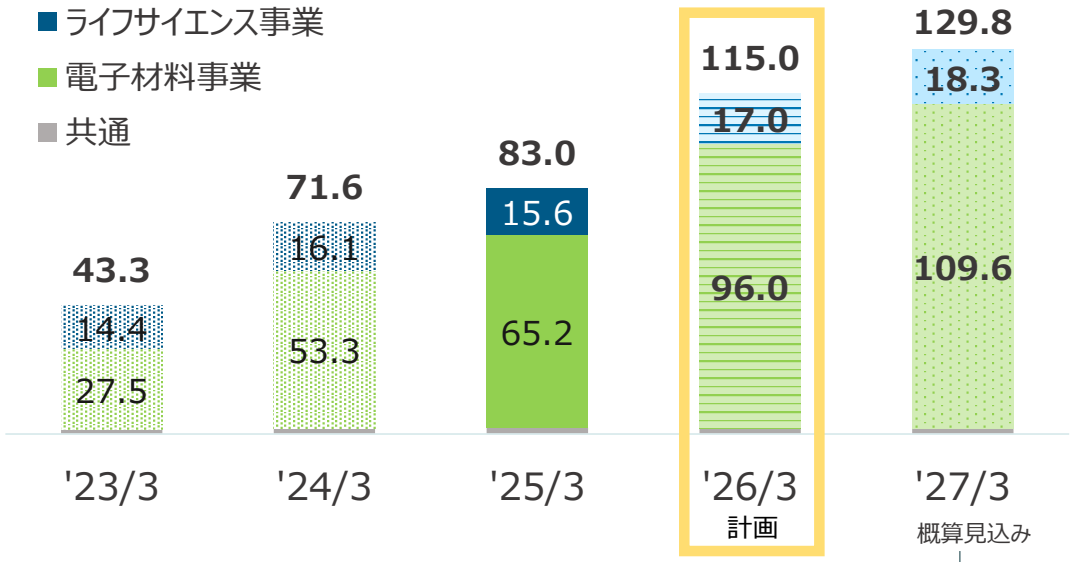
- ライフサイエンス事業 ： • 大阪工場修繕
- 電子材料事業 ： • 京都事業所新設備償却
  • 鹿島事業所で新設備稼動
  (定率償却　下期開始予定)

設備投資額(単位:億円)



セグメント別償却費

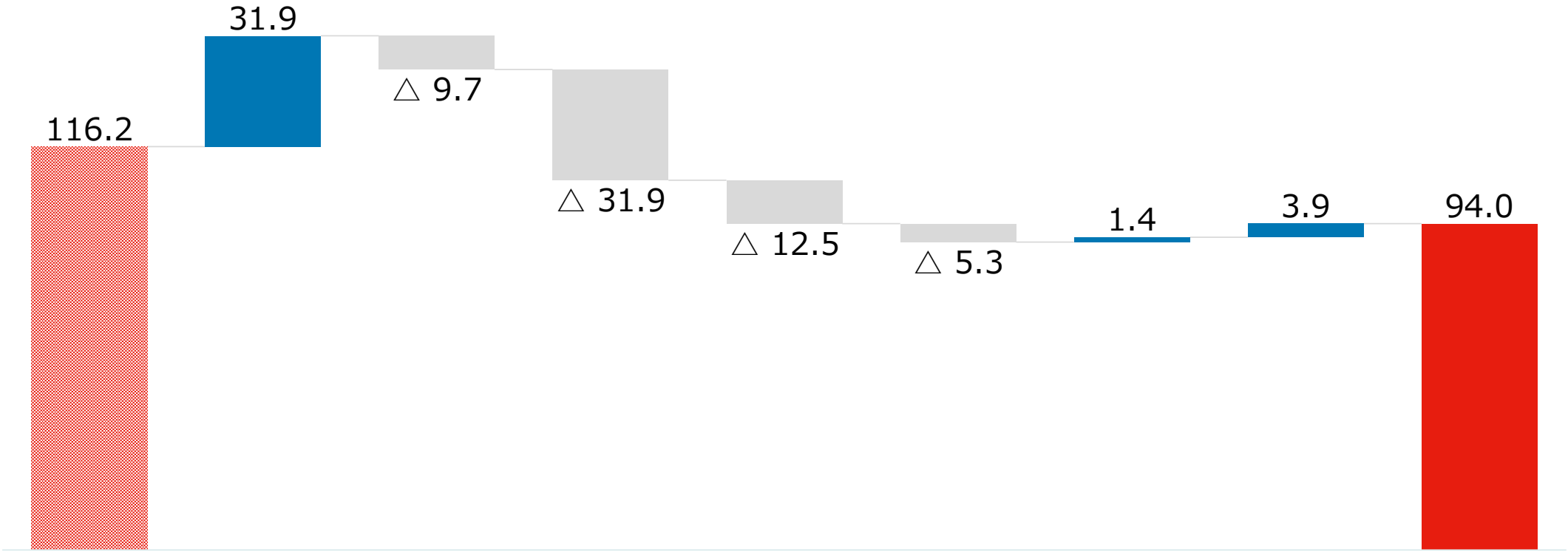
(単位:億円)	'23/3 実績	'24/3 実績	'25/3 実績	'26/3 計画	'27/3 概算見込
ライフサイエンス事業	14.4	16.1	**15.6**	17.0	18.3
電子材料事業	27.5	53.3	**65.2**	96.0	109.6
共通	1.4	2.0	**2.1**	2.0	1.9
合計	43.3	71.6	**83.0**	115.0	129.8



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

2026年3月期計画　当期純利益増減要因

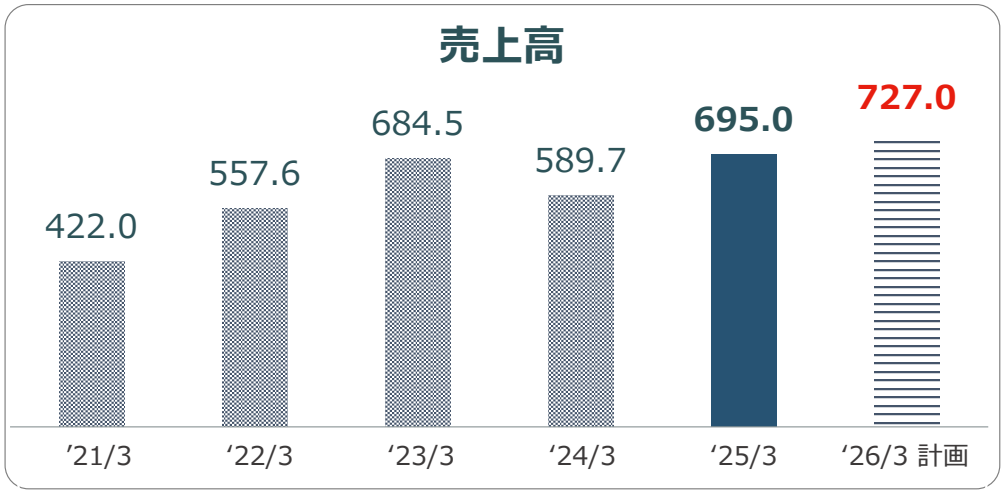
（単位：億円）

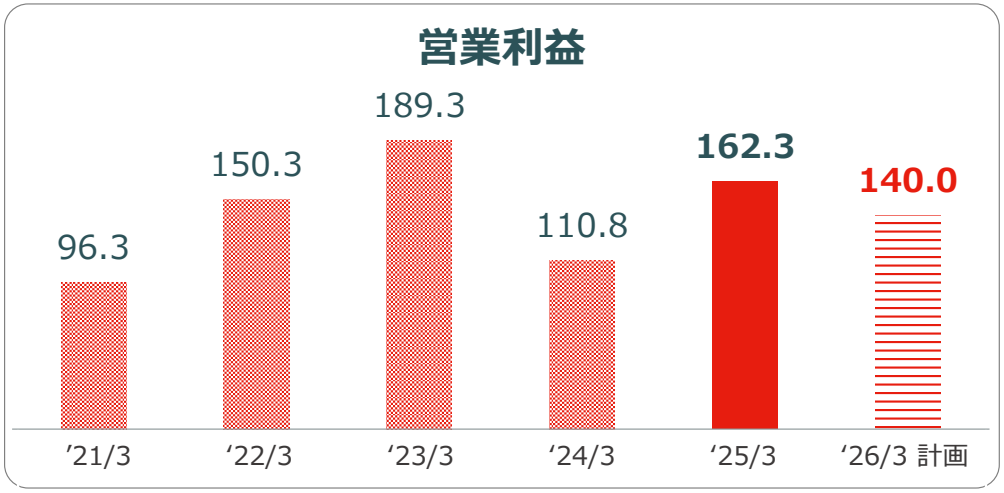


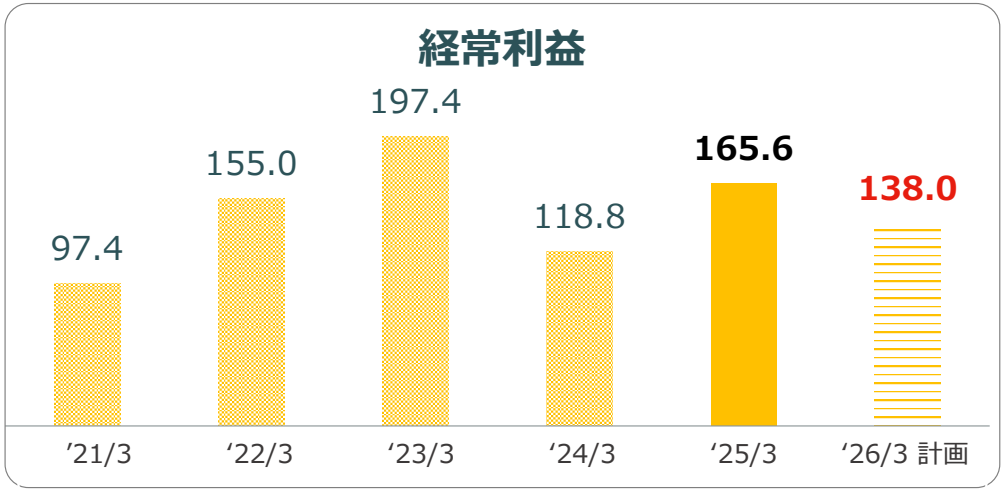
2025年3月期 当期純利益	売上高	売上原価		販管費	営業外損益	特別損益	法人税等	2026年3月期 計画 当期純利益
		減価償却費をのぞく	減価償却費					

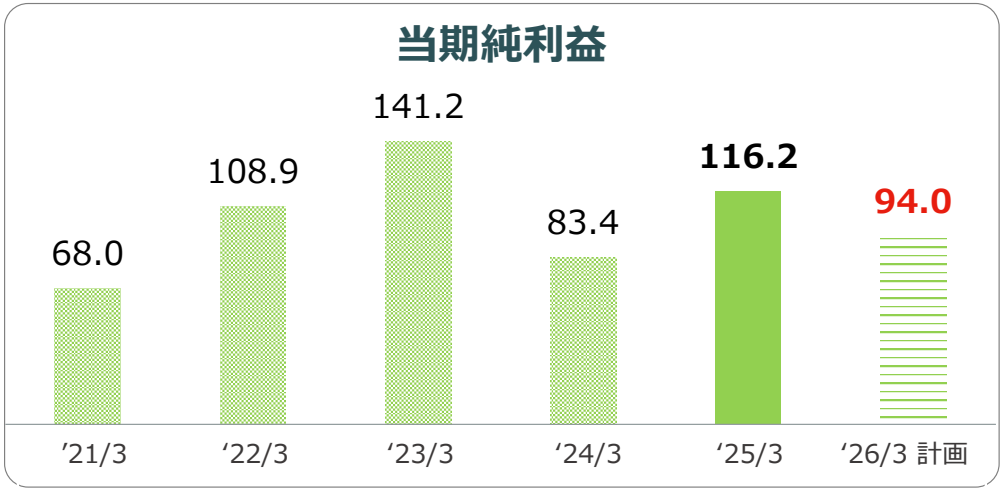
© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

業績推移および予想







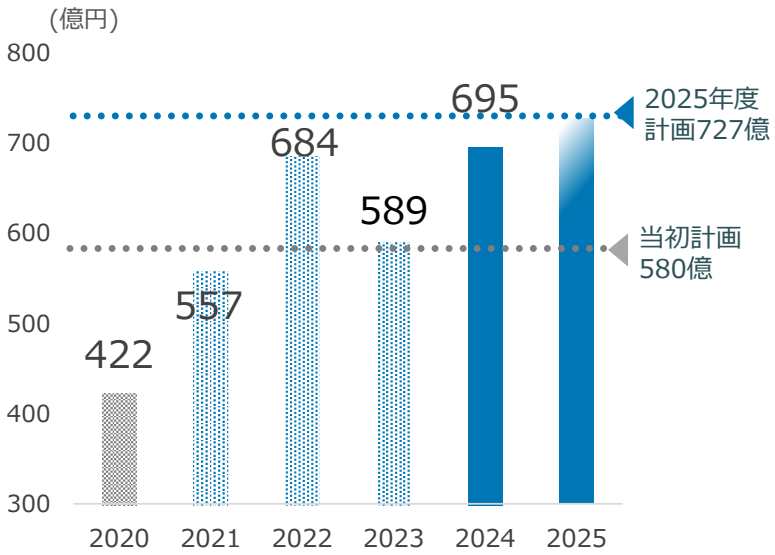


単位：億円

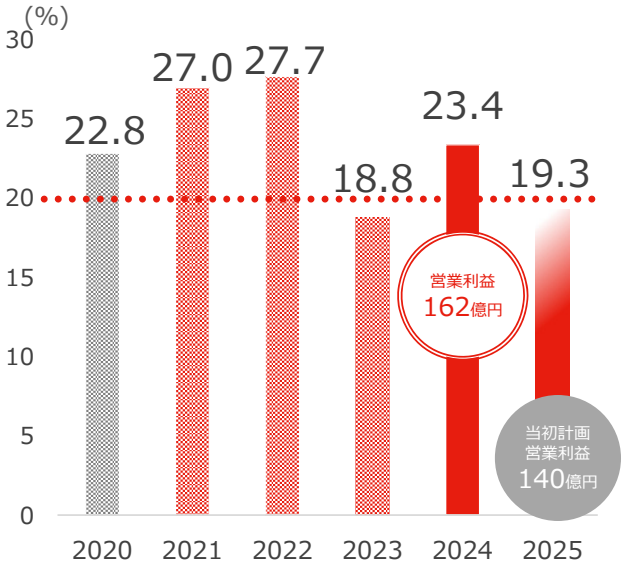
© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

中期経営計画　FUSO VISION 2025　当初計画比

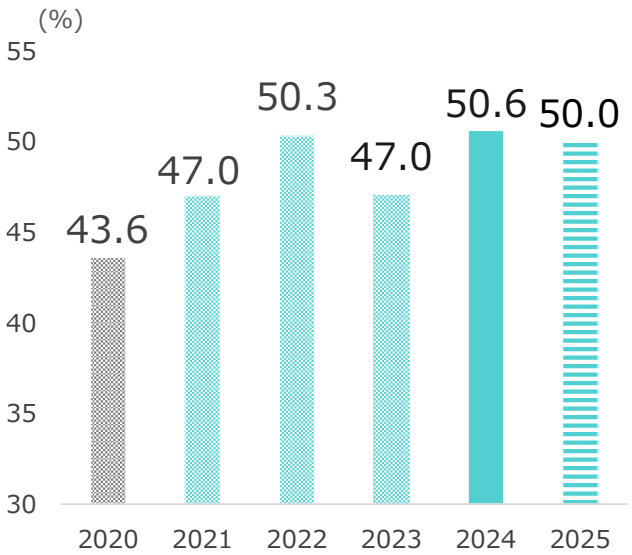
売上高



営業利益率



海外売上高比率



2021年度～2025年度　中期計画（当初）

- 売上高 **3割アップ**を目指します。
- 営業利益率 **20%以上**を確保します。
- 海外売上高比率 **50%**を目指します。

2024年度　実績

- 売上高　：　**6割アップ**
- 営業利益率　：　**23%**
- 海外売上高比率：　**50.6%**

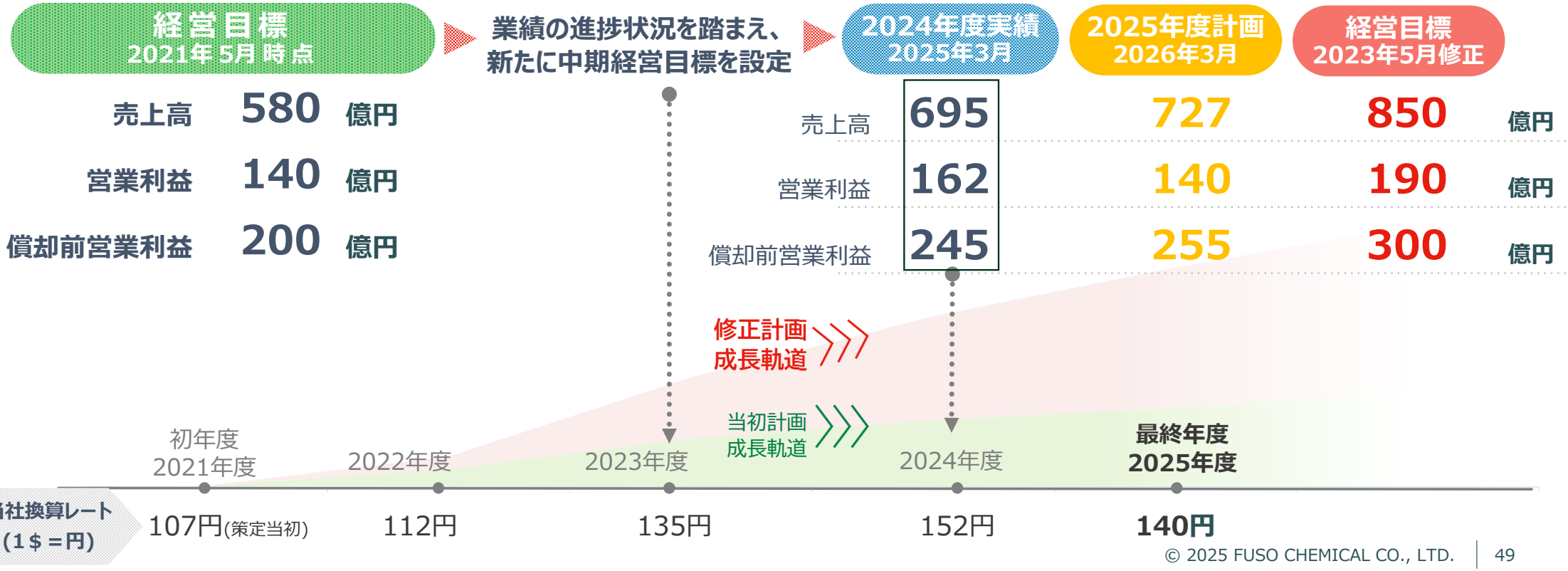
© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

中期経営計画　FUSO VISION 2025　進捗状況

経営方針

社会課題の解決に貢献するFUSOであるために

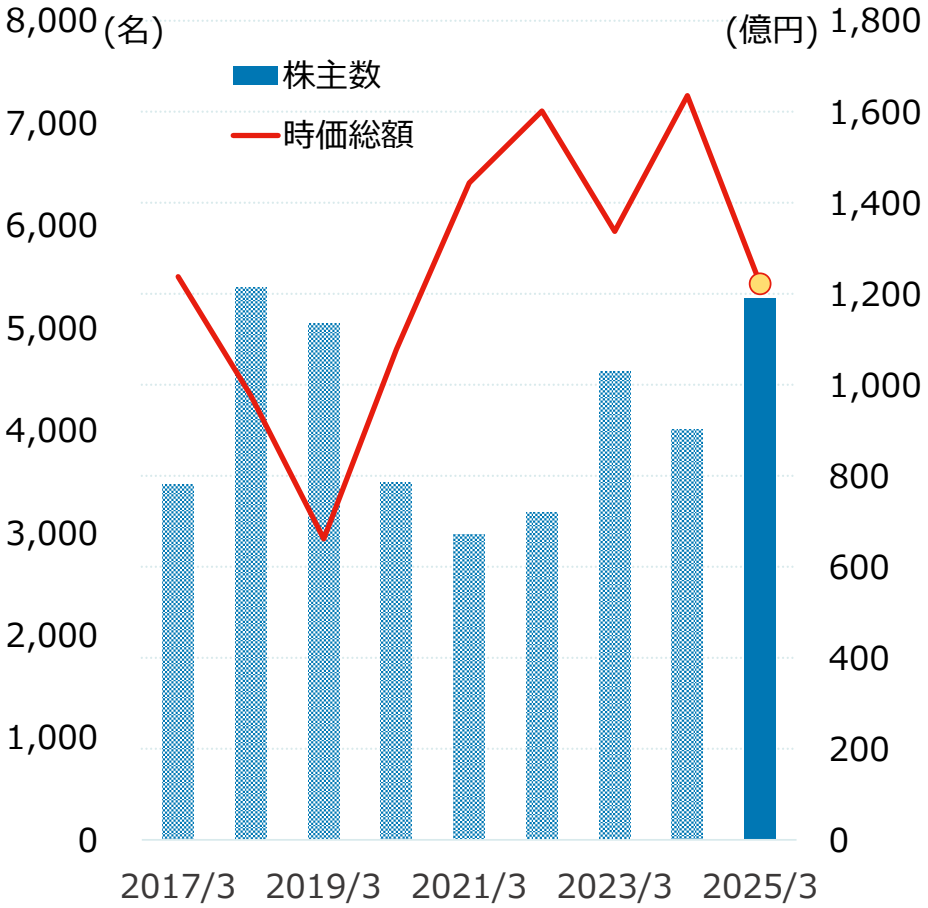
01. 既存事業における拡大する**需要の取り込み、着実な対応**
02. **新規事業・分野**への投資・挑戦
03. 持続的成長を支える**経営基盤の強化**(SDGsの取り組み)



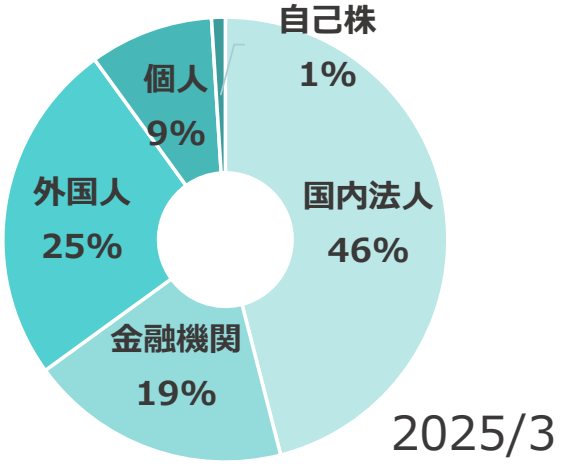
© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

株式情報

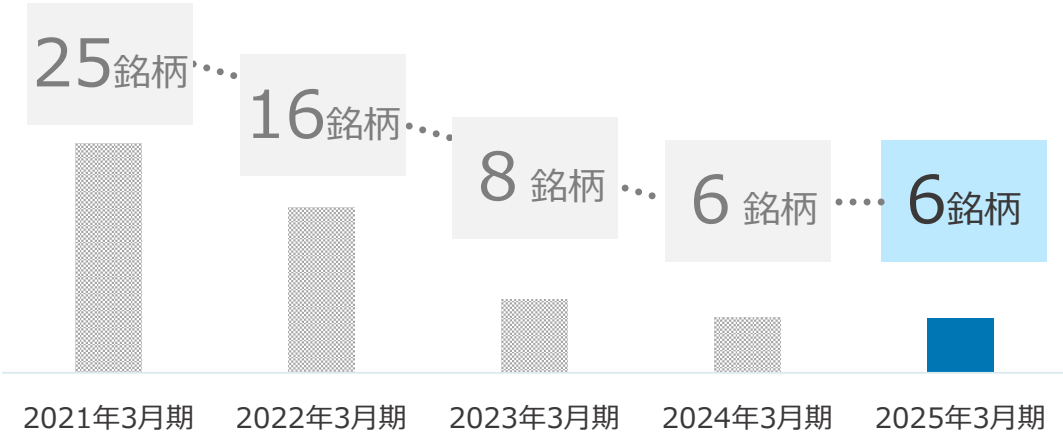
■ 時価総額・株主数



■ 株主構成



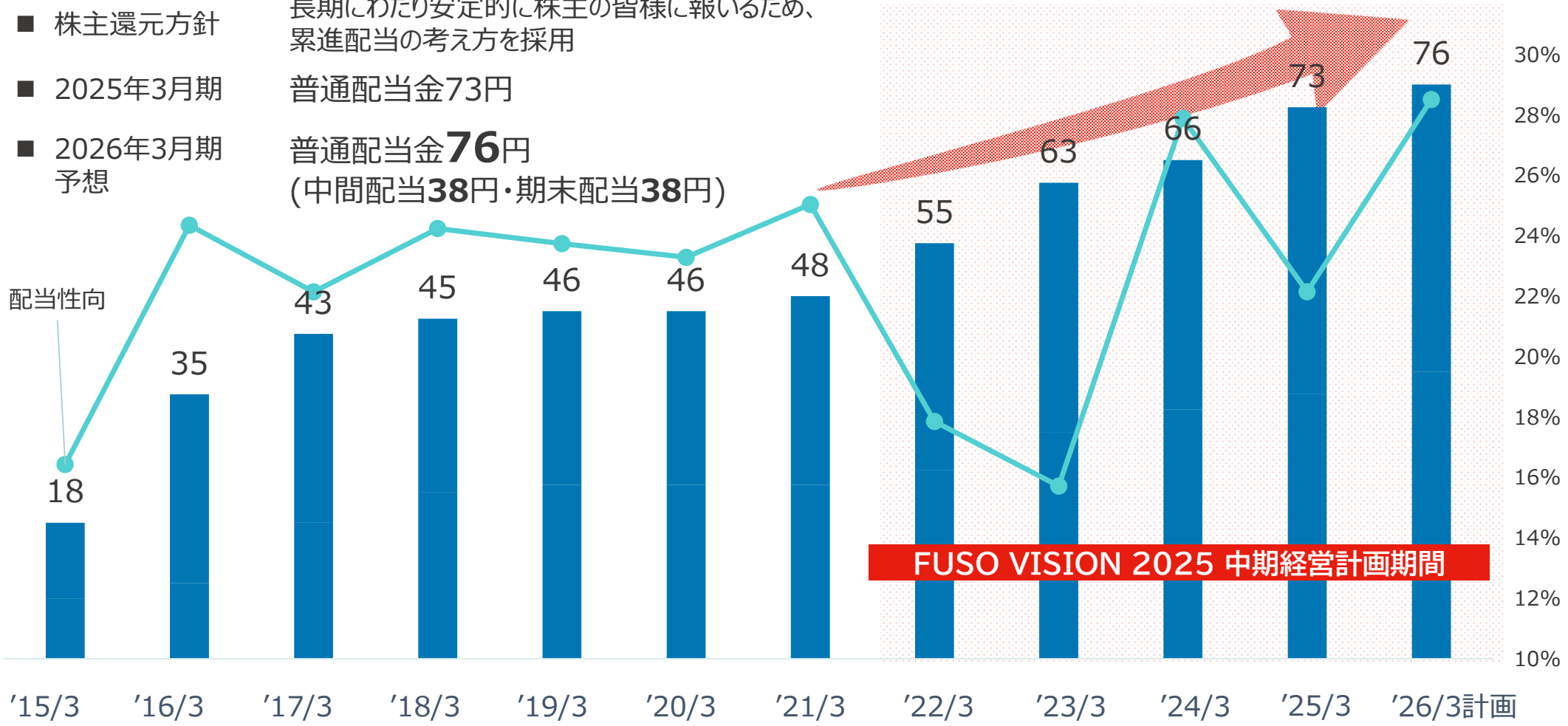
■ 持ち合い株式の状況(上場株式)



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

株主還元

- 株主還元方針　長期にわたり安定的に株主の皆様に報いるため、累進配当の考え方を採用
- 2025年3月期　普通配当金73円
- 2026年3月期予想　普通配当金**76**円
  (中間配当**38**円・期末配当**38**円)



© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅳ. Q & A

FUSO CHEMICAL

© 2025 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

本資料に記載されている、将来の見通しに関する記述・数値は、グループ各社の現時点での入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確定な要因も含まれており、その達成を当社として約束するものではありません。

また、実際の業績等は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、為替動向等、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。